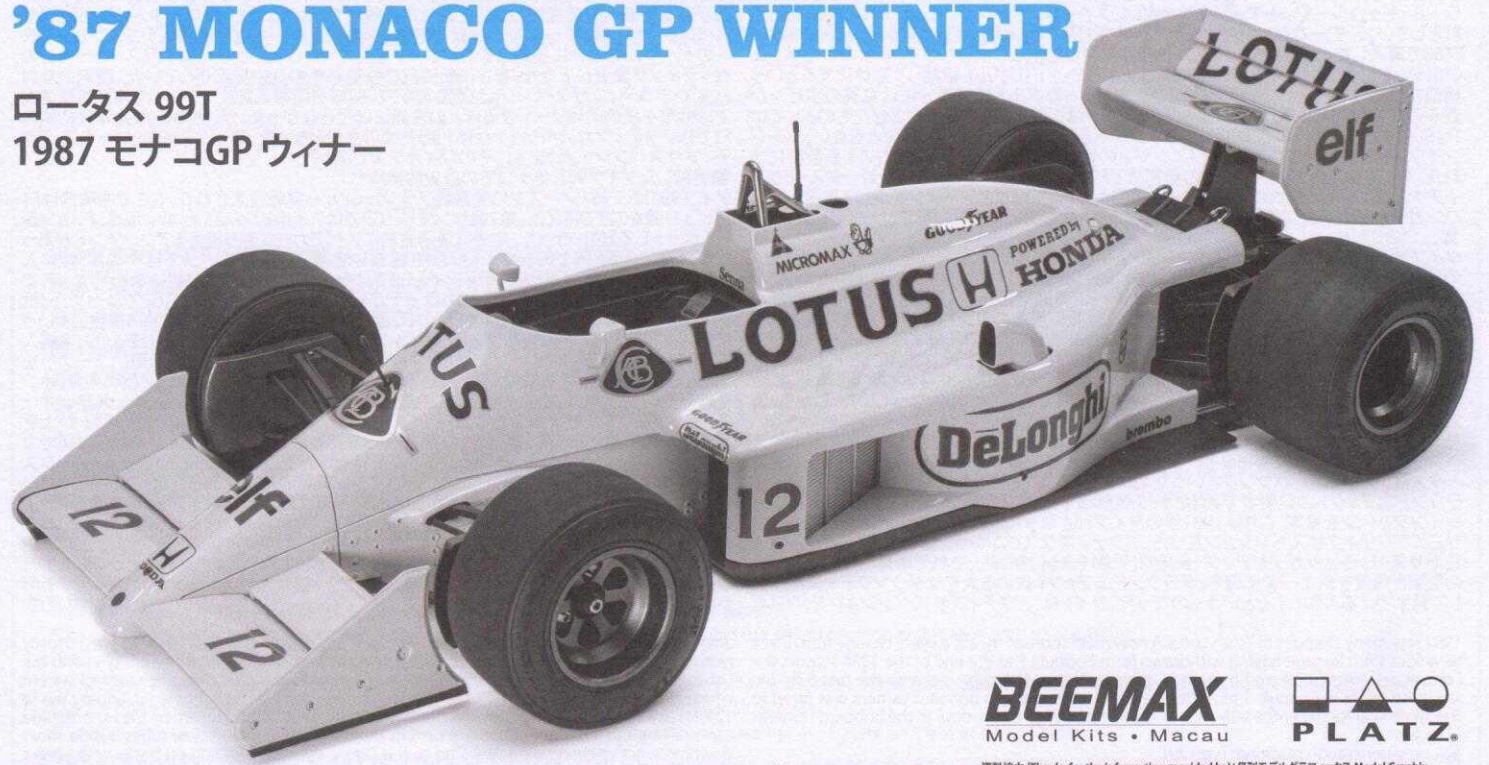


LOTUS 99T

'87 MONACO GP WINNER

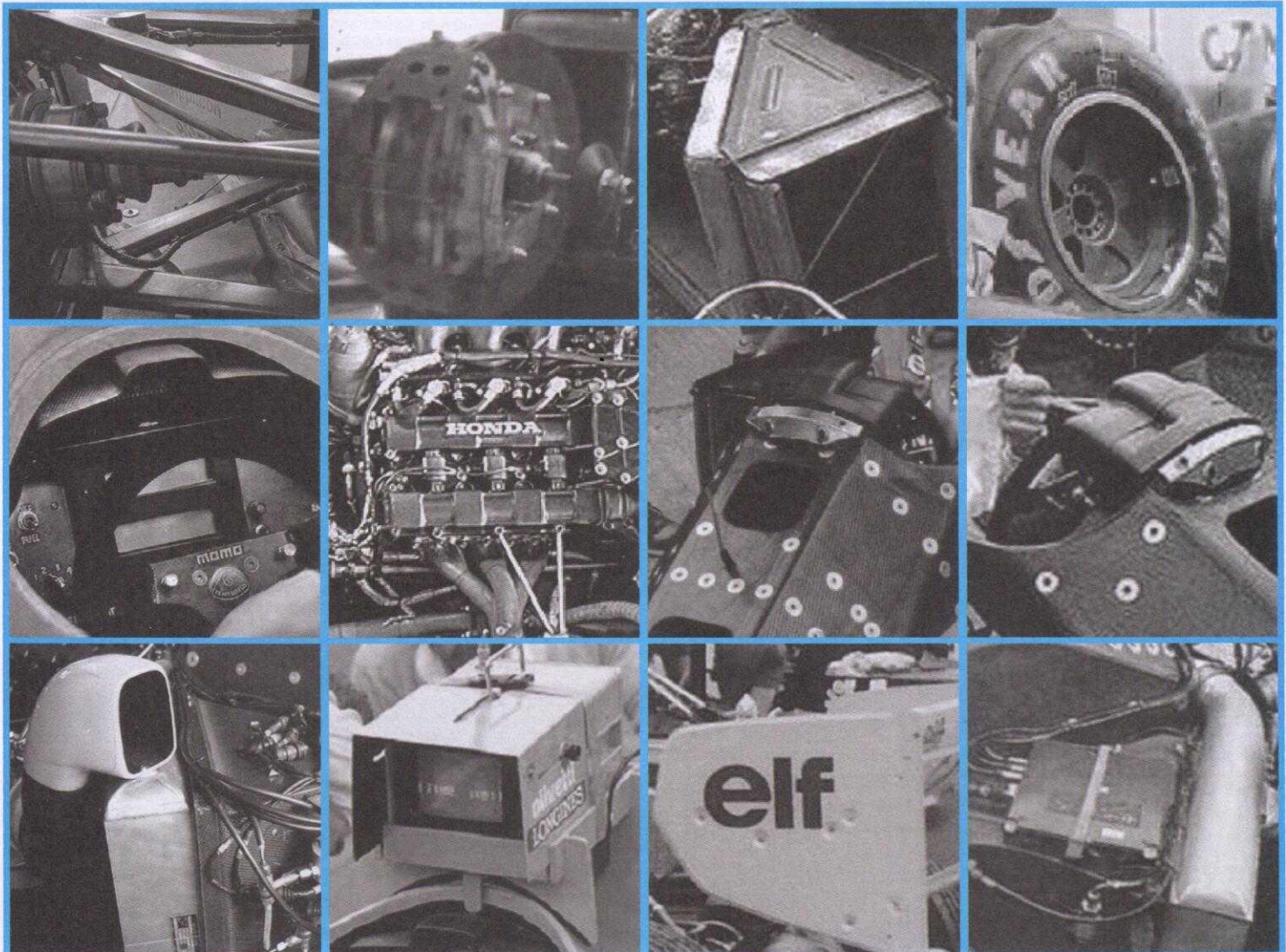
ロータス 99T
1987 モナコGP ウィナー



BEEMAX
Model Kits • Macau

PLATZ

資料協力 (Thanks for the information provided by): 月刊モデルグラフィックス Model Graphix





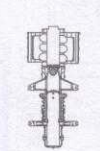
組み立てる前に部品・デカール等、キット内容をよくお確かめ下さい。
 万一、欠品や不良品がありましたらお客様サービスセンターまでご連絡下さい。
 Please confirm the product contents with the following PARTS LIST before assembly.

部品図
PARTS LIST

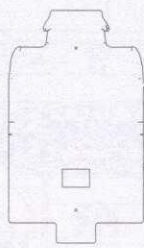
ボディ Body



A2 部品
Sprue A2



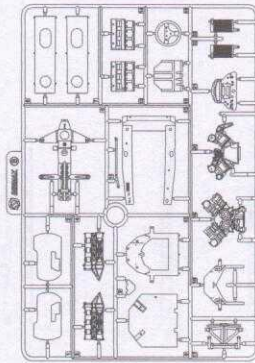
A4 部品
Sprue A4



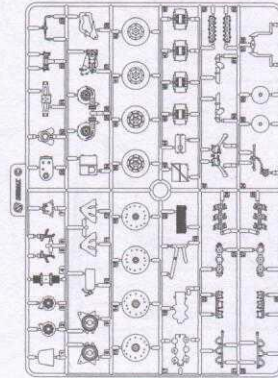
A5 部品
Sprue A5



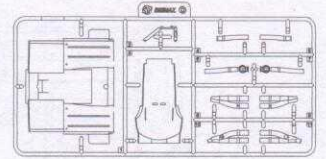
B 部品 Sprue B



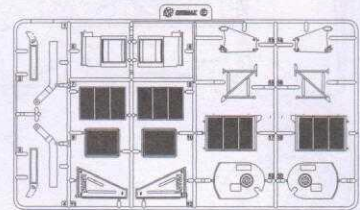
C 部品 Sprue C



D 部品 Sprue D



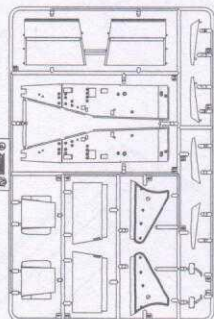
E 部品 Sprue E



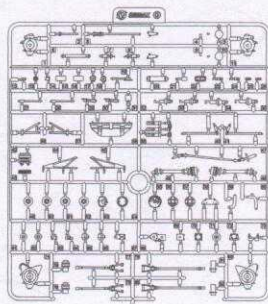
A3 部品
Sprue A3



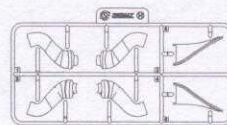
F 部品 Sprue F



G 部品 Sprue G



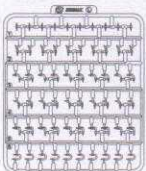
H 部品 Sprue H



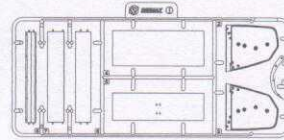
J 部品 Sprue J



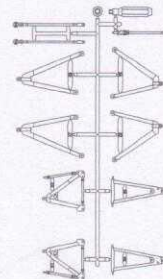
L 部品 Sprue L



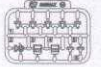
I 部品 Sprue I



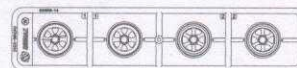
K 部品 Sprue K



M 部品 Sprue M



W 部品 Sprue W



N 部品 Sprue N



P 部品 Sprue P



BP1

x12



S0 1.2 x 2mm

x8



BP2

x10



S1 1.2 x 2.5mm

x16



BP3

x13



S2 1.2 x 3mm

x31



BP4

x7



S3 1.2 x 4mm

x31



BC1

x4



S4 1.2 x 6mm

x6



S5 2 x 10mm

x3



S6 2 x 20mm

x4

T1

0.6x1200mm

T2

1.0x800mm

T3

1.5x150mm

ドライバー
Screwdriver

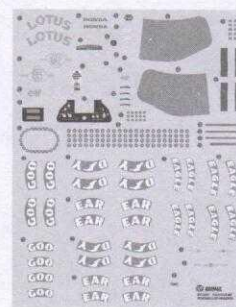


デカール Decal

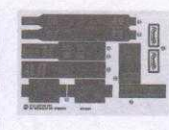
A



B



C



小袋 Tire set



タイヤ (4個)
Tire (4pcs.)



メッシュ (1枚)
Mesh (1 sheets)

アフターサービス After-Sales Service

BX12001

部品の不足や不良に関してはお手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)数量、を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手紙でご請求ください。無償で正規の部品を送付させていただきます。また破損、紛失については、実費で部品をお分けいたしております。お手数ですがメールまたは電話/FAXでお客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、部品名(番号)をお知らせいただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

※1 部品の在庫には限りがございますので万一、在庫切れの場合はご容赦下さい。

※2 デカールは不足・不良分のみの対応とさせて頂き、お客様の破損・紛失には対応できない場合があります。

■電話/FAXでの受付

TEL: 054-345-2047 (AM10:00~PM4:00) FAX: 054-345-2285

■メールでの受付

カスタマーサービス係: cs@platz-hobby.com

■お手紙での受付、部品代金の送付先

〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎 64-1
 有限会社プラッツ 部品請求係 宛

Introduction

1987年、チーム・ロータスはまったくあらたなシーズンを迎えた。まず、メインスポンサーがかわり、車体の色も黒から黄色に変わった。また、1986年限りでルノーがF1から離れるのを受けて、チーム・ロータスはホンダエンジンを獲得した。アイルトン・セナのチームメイトには、日本人初のF1フルタイム参戦ドライバーとして中嶋悟が起用された。その中嶋車には車載テレビカメラが装着された。現代にも続くF1の車載テレビカメラは、これがF1史上初のフルシーズン搭載だった。

■新時代のマシン

タイプ99T チーム・ロータスにとって新時代となった1987年のマシンは、タイプ99Tとなった。これは一見、1985年のタイプ97Tやその翌年のタイプ98Tと似た外観だった。しかし、ジェラルド・ウィルコックとマーティン・オグリーブのデザインチームは、99Tの中心を新設計としていた。チーム・ロータスは、1981年にF1初のカーボンコンポジットシャーシをタイプ88で導入した。これは、ロータスが独自に開発した製法によるもので、板状のカーボンコンポジット材をつくり、それを折り曲げて、バルクヘッドにボルト締結して立体にするという構造だった。バルクヘッドとカーボンコンポジットのボルト締結部分には金属のボビンを並ぶのが特徴的だった。タイプ99Tのモノコックはこの工法をより進化させたものとしていた。90度V型のルノーから、80度V型のホンダへとエンジンが変わったのにもない、エンジンマウントも新設計された。ホンダエンジンの特性に合わせて、ギアボックスも新設計にされた。そしてサスペンションは、この年初めてF1フルシーズン参戦となったロータス・アクティブサスペンションとなっていた。タイプ99Tはウイング類などシーズンを通して進化し続け、ハンガリーGPからは当時流行だった低くフラットなボディワークになった。

■2つの切り札

タイプ99Tには、エンジンとサスペンションという二つの切り札があった。エンジンはホンダの1500cc V6 ツインターボのRA167E。この1987シーズンは燃料タンクの最大容量が195リットルまで（レース中の燃料補給は禁止）、ターボの過給圧が4バールまでという規制がルールで科せられた。それに対応すべく、ホンダは吸気温度のコントロール、独自の電子制御燃料噴射のPGM-FI、走行中のエンジンデータをリアルタイムで監視するテレメータ通信システムなどを駆使し、より高効率な燃焼による高出力と低燃費を両立させていた。燃料には167Eにルノーのノルマルヘプタンを混ぜた特殊なものとし、より高出力も実現。結果、このRA167Eは1000馬力以上出力を発生し、1987年のF1で最強レベルになった。しかも、幅広い回転域でパワーが使えるという、ドライバーにとって扱いやすいエンジンにもなっていた。もうひとつの切り札は、ロータス・アクティブサスペンションという電子油圧制御のサスペンションだった。1977年にタイプ78でF1にグラウンドエフェクトを導入したチーム・ロータスは、すぐにポーピングという空力による激しい上下振動に悩まされてしまった。グラウンドエフェクトの発明者であるピーター・ライトは、この問題の解決策にプランAとしてツインシャーシを考案。これは1981年のタイプ88となった。さらに、プランBとして考えたのがこのアクティブサスペンションだった。アクティブサスペンションは、コンピューターと油圧でサスペンションがアクティブ（自発的）に動くように制御し、これで車体の底面と路面との間隔と角度を常に一定に保ち、グラウンドエフェクトによる大きなダウンフォースを一貫して発生できるようにするというものだった。ライトは、アクティブサスペンションを1983年

1987 saw many changes at Team Lotus. A new main sponsor meant a livery change from black to yellow. With Renault having withdrawn from Formula 1 at the end of the 1986 season, the Lotuses were now powered by Honda engines. Satoru Nakajima, became the first full-time Japanese driver in Formula 1 as Ayrton Senna's teammate. An onboard camera was fitted to Nakajima's car for the entire season, a world-first that opened the door to the onboard cameras of today.

■A new-generation machine: Type 99T

For the 1987 season Team Lotus introduced a new-generation machine—Type 99T. At first glance, it looked similar to the Type 97T and Type 98T that were raced in 1985 and 1986. But looks can be deceiving. Under the skin, a completely new car had been designed by the development team led by Gérard Ducarouge and Martin Ogilvie. In 1981, Team Lotus brought out Type 88, the very first F1 car with a carbon composite chassis. It was made using a process developed by Lotus which involved making a flat sheet of carbon composite material which was then cut out and folded into the monocoque. The joints were then reinforced, and bulkheads were bolted on to form the desired three-dimensional structure. When looking at the naked monocoque, lines of metal bobbins are clearly visible where the carbon composite is bolted onto the various bulkheads. The same construction method, albeit further improved, was used for the monocoque of Type 99T. As Renault's 90-degree V6 engine was replaced by Honda's 80-degree V6, new engine mounts had to be developed. Lotus further went to the trouble of designing a new gearbox to best match the characteristics of the Honda engine. On the suspension side, this was the year Lotus' proprietary Lotus Active Suspension was introduced and raced over the entire season. Aerodynamic development continued throughout the season with a variety of new wing designs appearing on Type 99T. From the Hungry GP onward, a trendy, low and flat bodywork was adopted.

■Two trump cards

Type 99T had two trump cards—its engine and its suspension. On the engine side was Honda's RA167E twin-turbo V6. For 1987, fuel tank capacity was reduced to 195 liters (with no refueling allowed) and turbocharging pressure was restricted to a maximum of 4 bars. In response to these new rules, Honda focused on further improving combustion efficiency on the way to both high power and low fuel consumption. To this end, one main development effort centered on intake air temperature control while also perfecting such proprietary technologies as the PGM-FI electronically controlled fuel injection system, and a new Telemeter Communication System providing the pit with real-time engine data. Special fuel blends with high toluene and n-heptane contents were also devised to further help increase power. With a maximum power output said to be in excess of 1,000 horsepower, RA167E was considered to be one of the more powerful, if not the most powerful, F1 engine in 1987. Beyond sheer power, its broad powerband also proved a valuable tool in the hands of the drivers. On the suspension side was Team Lotus' proprietary electro-hydraulically controlled Lotus Active Suspension. In 1977, Team Lotus introduced the first ground effect F1 car and was immediately faced with severe porpoising—an aerodynamically induced, violent vertical bouncing phenomenon. Peter Wright, the very person credited with the idea of ground effect, then came up with a first solution—designing a twin chassis car—which became Type 88 of 1981. He also had another solution involving active suspension. The idea behind active suspension was to actively control suspension movement using a computer and hydraulic actuators to eliminate pitch and roll and thus achieve the constant ride height required for maximum, yet stable, downforce. Peter Wright pioneered the use of active suspension in F1 with the 1983 Lotus Type 92. But its then

Lotus 99T is 蓮花F1 賽車史上最讓人感到陌生的賽車，亦是「最沒有 Lotus 塗裝特點」的賽車之一。它一改 Lotus 車隊黃綠配色或是席捲 F1 賽場的黑金旋風，部分人對這台特別的黃色 Camel 塗裝的 Lotus 99T 都感到新奇。當時由於雷諾在 1986 年底退出 F1 後，Lotus 與本田簽署了使用其渦輪增壓 1.5 升發動機 (RA166-E V6 渦輪) 的協議。因此，Lotus 有了新的冠名贊助商和塗裝。John Player Special (JPS) 的黑色和金色被 Camel 的黃底藍字印花所取代。新設計簡約但非常醒目，使 Lotus 99T 賽車驚艷奪目。1987 年，在 Lotus 97T 賽車的基礎上，Lotus 推出了 99T 型賽車。Lotus 99T 採用了本田提供的 1.5T 渦輪增壓發動機，可產生超過 1000 匹馬力。值得一提的是，在這款車上首次搭載了由 Gérard Ducarouge 設計的自動懸掛

にタイプ92でF1に初投入した。しかし、タイプ92のものはその制御コンピューターがアナログ式で、まだ発展途上だった。ライトはロータスグループのなかのロータス・エンジニアリングでアクティブサスペンションの開発を継続。そして、1987年にフルデジタルコンピュータ制御のものがタイプ99Tに搭載された。電子油圧制御のアクティブサスペンションは、システム全体で10〜12kgの重量があった。油圧ポンプはエンジンの左側バルクの排気バルブ用のカムシャフトで駆動されていた。重量での不利も予想されたロータス・アクティブサスペンションだが、ダウンフォース発生だけではなく利点もあつた。ロータス・アクティブサスペンションは、タイヤの消耗を抑える傾向も示し、タイヤに厳しいコースで有利に戦う要素に凸だった。タイヤの接地性能を上げる効果でモノコックやデトロイトのような公道コースでも凹凸がある路面への追従性の良さや優れた操縦性も示した。さらに、ロータス・アクティブサスペンションでは、ロータス・エンジニアリングの担当スタッフがラップトップコンピューターケーブルを車体に接続してキーボードをたたくだけという短時間でサスペンションのセッティング変更ができた。まさに新時代の技術革新の到来を実現していた。画期的なロータス・アクティブサスペンションだったが、1987年当時のコンピューターの演算処理速度では他車を圧倒的にリードするほどの性能には至らなかった。が、その後1990年初頭のF1ではアクティブサスペンションが勝利のための主流となった。ロータス99Tとロータス・アクティブサスペンションはまさにそのパイオニアであった。

■善戦したタイプ99T、モナコでの歴史的勝利

タイプ99Tは、1987シーズンの開幕戦ブラジルGPから実戦投入された。ここで中嶋悟はF1デビュー戦を7位で終えた。第2戦サンマリノGPではアイルトン・セナがポールポジションからスタートして2位になった。中嶋は決勝直前にスペアカーに乗り換えるアクシデントがあったが、6位に入賞。F1での日本人初入賞を記録した。第3戦ベルギーGPでは中嶋が5位に入賞した。第4戦モナコGPと続くデトロイトGPではセナが2連勝。路面が粗い市街地コースでの強さを示した。第6戦フランスGPではセナが4位になり、第7戦イギリスGPではセナが3位、中嶋が4位となり、ウィリアムズの2台の1-2とともに、ホンダエンジン勢の1-4位独占という快挙にも貢献した。その後もセナは、ドイツ3位、ハンガリー2位、オーストリア5位と連続入賞。第11戦イタリアGPでは、セナがトップを走った。が、周回遅れの処理の際にコーナーを出てしまい失速。2位となった。第15戦日本GPではセナが2位となり、中嶋も5位に入賞。ホンダ地元での初開催に、ホンダ勢としての最高位をロータスの2台が獲得した。最終戦オーストラリアGPでは、セナが2位でゴールしたものの、フロントブレーキの冷却ダクトが大きすぎたため失格になってしまった。だが、タイプ99Tとセナの組み合わせがやはり市街地コースで速いことが示された。年間ランキングではセナが3位、中嶋が12位、チーム・ロータスは3位だった。87年のタイプ99Tは、より速いマシン実現のためにあらたな技術へ挑んだロータスとホンダの精神を体現していた。F1の技術を変えた意欲作タイプ99Tのモノコックとデトロイトでの勝利も、チーム・ロータスの勝利の歴史を輝かしく締めくくるものにもなった。とくにこのキットの仕様であるモノコックは、セナにとっては1984年以来願ったモノコック優勢であり、同GP史上最多の6勝の記録への第一歩にもなった。ホンダにとってもモノコックGP優勢だった。また、新技術だったロータス・アクティブサスペンションのF1初勝利でもあつた。(小倉茂徳)

analog-type computer control system was still a work in progress and was eventually removed. But development work continued at Lotus Engineering—another entity within the Lotus Group—coming to fruition in the form of a now fully digital computer control system which was fitted to the Type 99T of 1987. Active suspension was no lightweight, adding ten to 12 kilos as a whole. It also was a power drain with its hydraulic pump driven by the exhaust-side camshaft on the left bank of the engine. But there also were other advantages beside sheer downforce. Active suspension was kind to the tires, a valuable weapon on tracks with severe tire wear. It also helped the tires stay in contact with the track surface. This proved most valuable on public road courses like Monaco and Detroit where active suspension helped better cope with the uneven surface and thus provide better vehicle control. Another advantage of active suspension was the ability to alter suspension settings in a moment by simply connecting a laptop computer to the onboard system and inputting the data with a few strokes on the keyboard. Active suspension clearly signaled the beginning of a new age. As revolutionary as the Lotus Active Suspension was, computers in 1987 simply could not deliver the processing speeds needed to provide an overwhelming performance advantage over the other cars. But by the early 1990's, active suspension had become a key feature for victory in F1. The Lotus 99T and its Lotus Active Suspension system were the pioneers of the day.

■Type 99T: Mixed results despite a historical win in Monaco

Type 99T was raced from the 1987 season opener in Brazil where Satoru Nakajima, in his first race in F1, finished in seventh position. In the second round of the season at the San Marino GP, Ayrton Senna took pole position on the way to a second-place finish. Nakajima, who had to switch to his spare car at the last minute, nevertheless finished in sixth position to become the first Japanese driver to mark points in F1. In the following Belgium GP Nakajima did one better, finishing in fifth position. The fourth round of the season at the Monaco GP and the following Detroit GP saw Senna take full advantage of the performance provided by the Lotus Active Suspension on uneven public road surfaces, marking two wins in a row. Round six of the season at the French GP saw Senna finish sixth. Round seven at the British GP saw Senna come in third with teammate Nakajima following in fourth behind the two Williams, thus contributing to a 1-2-3-4 finish for the Honda engine. Senna followed this with a third place in Germany, a second place in Hungary and a fifth place in Austria. In round 11 at the Italian GP, Senna was in the lead until he lost time going off-course while lapping a slower car and thus had to make do with a second-place finish. In round 15 at the Japanese GP, Senna finished second with Nakajima following in fifth giving Honda its two best placements at its maiden race on home ground. The last race of the season at the Australian GP saw Senna cross the finish line in second place only to be later disqualified for an oversized front brake cooling duct. This did not prevent Type 99T from showing, once again, its speed when driven by Ayrton Senna on a public road course. Overall, Senna finished third in the driver's ranking with Nakajima coming in 12th. Team Lotus finished third in the constructors' ranking. The ambitious Type 99T raced in 1987 epitomizes the concerted effort of Lotus and Honda to bring new, step-changing technologies to bear in F1. Type 99T's victories in Monaco and Detroit also marked a glorious end to Team Lotus' winning history. This kit represents Type 99T as raced to victory by Ayrton Senna at the 1987 Monaco GP. After having won his first Monaco GP in 1984, it also is the car that allowed Senna to return to winning ways at Monaco on his way to a record six Monaco wins in total. Similarly, this is the car that gave Honda its first GP win in Monaco. It goes without saying that it also gave Lotus Active Suspension its first GP win. (By Shigenori Ogura)

系統 (在F1賽事上首次配備)，採用了當時最先進的電腦系統來控制液壓懸掛，使得懸架系統通過不斷調整，消除俯仰和側傾，以達到最符合空氣動力學的行駛高度，可以在彎道、加速以及制動中保持最佳的車身穩定性。因為這種「平地行駛」確保了每個輪胎與賽道的接觸面積增大。減少輪胎磨損意味著99T的尾翼變細，從而提高直線的極速。Lotus 99T不單止是外顯讓世人留下深刻印象，亦成功奪得多個大獎賽冠軍。當時賽車駕駛Lotus 99T 在世界知名、由街道組成的摩納哥和底特律大獎賽都取得了冠軍。在聖馬力諾、日本和澳大利亞大獎賽拿下第二，英國和德國大獎賽獲得第三，在法國大獎賽得到第四。不過在1993年，F1比賽禁止使用了該項技術，但如今這項技術已經被廣泛地使用。

BEEMAX
Model Kits • Macau

製造・販売: Beemax Development Co., Ltd.
澳門宋玉生廣場25號25樓Beemax發展部4樓A
ALA: DR. CAR D'ASSUMPCAO FL. 14, FLAT A
ED. KIN HENG LONG PLAZA, MACAU
www.beemaxmacau.com
TEL: 853-2850-8299
www.facebook.com/BeemaxModelKitsMacau

PLATZ

發售元: 有限公司
〒424-0065 静岡県静岡市清水区西島64-7
TEL: 054-345-2047 FAX: 054-345-2285
http://www.platz-hobby.com/
PLATZ Co., LTD.
64-1 NAGASAKI SHIMIZUKU SHIZUOKA
424-0065 JAPAN

別売りの専用ディテールアップパーツと組み合わせれば
さらに細部まで再現可能! ※詳細はプラッツwebサイトをご確認ください。
Recommended Detail-up Parts (sold separately)

1/12 フォーミュラシリーズ ロータス 99T
1987 モナコGP ウィナー 用ディテールアップパーツ

Detail-up Parts for 1/12 LOTUS 99T '87 MONACO GP WINNER [EXT2001]

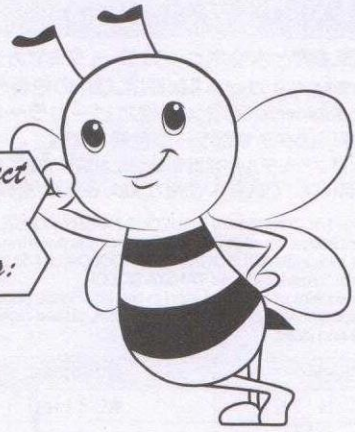
組み立てる前に必ずお読み下さい。

Important Information to be Read before Assembling this Product

Information importante à lire avant de monter ce modèle:

Wichtige Information vor dem Montieren dieses Modellbausatzes:

製作前必須注意



組み立てキットです。作る前に組み立て説明書をよくお読みください。

部品を取り出した後のビニール袋は、小さな子供が頭からかぶったりすると危険です。破って捨ててください。

部品はきれいに切り取り、切り取った後のランナー（残り）は捨ててください。

部品は商品の都合上やむなく尖っているところがありますので、ケガをしないように注意してください。特に小さなお子様のいる家庭では注意してください。

部品の切り取りにはニッパーを使用し、バリ等の余分な部分はナイフ、ヤスリなどで仕上げます。また、ニッパー、ナイフ、ヤスリ等を不用意に取り扱くと刃先などで手、指、足などを切る可能性がありますので10才以下の方は保護者の方が行ってください。

小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。（接着剤、塗料を使用する場合は下記に注意してください。）

接着剤、塗料は口の中に入れてください。中毒の危険があります。接着剤、塗料が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い流して、医師に相談してください。

締め切った室内では使用しないでください。中毒の危険があります。近くでの火の使用も絶対に止めてください。引火する危険があります。

直射日光の当たる場所や高温・多湿になる場所には放置しないでください。

This is the plastic model assembly kit, please read the instruction carefully prior to assemble.

Please rip the plastic bag to pieces and throw away after taking all parts out to avoid the risk of children suffocation with plastic bags.

Remove the parts from frame and dump it after all the parts have been removed.

Some parts might be sharp-edged due to inevitable manufacture process, care should be taken as these might cause personal injury, especially families with children.

Cut the parts from the frame with nippers and trim away the exceed plastic with knives or a file.

Guardian should handle the tooling for Children under 10 years-old as these can cause hands, fingers and feet irritation if misuse.

Care should be taken to avoid risk of swallowing/inhaling small parts.

(Pay attention to the following if adhesive and paints were used.)

Do not swallow adhesive and paints in case of poison. If it gets into eyes, rinse thoroughly with water and get medical attention immediately.

Use adhesive and paints in well-ventilated areas to avoid risk of poisoning.

Keep away from heat while using in case of fire.

Protect from sunlight and keep away from high temperature and wet place.

Este modelo necesita ser montado. Lea las instrucciones de montaje antes de montarlo.

- Después de sacar el producto de la bolsa de plástico, retire la bolsa de plástico y recicle esta, ya que habrá peligro de asfixia si un niño pequeño se coloca la bolsa en la cabeza.

- Separe las partes del árbol de inyección y deséchelos después de que todas las partes hayan sido pegadas.

- Debido a las circunstancias de fabricación, inevitablemente habrán partes afiladas que podrían ser peligrosas. Asegúrese de no usar el contenido con otros propósitos. Los hogares con niños deben tener especial cuidado.

- Use pinzas para remover las piezas y elimine las rebabas en las piezas con un cutter o una lima. El mal manejo de pinzas, cutter, o limas pueden dar a lugar a bordes afilados que pueden cortar en manos, dedos o piernas. Alejar a los niños/as menores de 10 años de éstos, o trabajar bajo la supervisión de un adulto.

- El kit contiene objetos pequeños, tenga precaución de no tragárselo por error ya que existe peligro de asfixia. Debido a dicho peligro, tenga especial cuidado en no dar éstas piezas a infantes más pequeños del recomendado.

(En caso de que usted vaya a usar cola o pinturas, tenga en cuenta los siguientes puntos):

· Procure no poner cola o pintura en su boca, ya que existe peligro de toxicidad.

· Si se le introduce cola o pintura en los ojos, láveselos inmediatamente con agua y consulte a su médico de cabecera.

· No use cola o pintura en habitaciones cerradas, ya que existe peligro de intoxicación.

· No use cola o pintura cerca de fuentes inflamables, ya que existe peligro de inflamación.

· No deje el producto y sus piezas en lugares con contacto directo a la luz solar o en lugares con altas temperaturas o gran humedad.

本品為組裝模型，請在組裝前詳細閱讀說明書。

取出組裝零件後的塑料袋，若被幼兒套在頭上會有窒息的危險，取出後應立即弄破並且丟棄。

請完整剪下組裝零件，丟棄剩餘的水口。

根據產品的特性，有些零件會有尖突的部分，請注意不要弄傷。特別是有幼童的家庭更需要注意。

使用鉗子取出零件，披鋒等多餘的部分使用小刀，銼刀等完成。

另外，鉗子、小刀、銼刀等使用時應注意安全，防止刀尖、刀刃劃破手腳趾。未滿10歲兒童的情況下請家長代為組裝。

防止誤食微小零件。（使用粘合劑、塗料等請注意以下事項）

不要將粘合劑，塗料放入口中，否則會有中毒的危險。若不慎進入眼內，應立即使用大量清水沖洗並且及時就醫。

不要在封閉的室內使用，否則會有中毒的危險。

嚴禁在近火處使用，否者會有引起火災的危險。

禁止放置在直射陽光、高溫、潮濕等處。

〈組み立て方法/How to Assemble〉

① 部品の切り取り：部品をランナー（枠）からニッパーで切り取ります。切り口などカッターやヤスリを使い、きれいに仕上げます。

② 部品の接着：仮組みをして合わせ具合を確認してから、接着面に少量の接着剤を塗り、接着します。

※ 接着面以外の部分に接着剤がつかないように注意しましょう。

③ 部品の塗装：接着剤が十分に乾いたら、塗装します。

※ 風通しのよい場所で、晴れた日に塗装をしましょう。

① Cut off the parts : Use nippers to cut off the parts, and finish any burr remaining on parts using a knife or file.

② Cut off the parts : After a test fitting to confirm cement position, apply a small amount of cement to the cementing surface.

※ Be careful not to apply cement to the part other than the cementing surface.

③ Painting : Paint the parts after the cement is completely dried in well ventilated place and sunny day.

① Corta las partes: Use pinzas para cortar las partes y termine cualquier rebaba que quede en las partes con un cuchillo o una lima.

② Corta las partes: Después de un ajuste de prueba para confirmar la posición del cemento, aplique una pequeña cantidad de cemento a la superficie de cementación.

※ Tenga cuidado de no aplicar cemento a otra parte que no sea la superficie de cementación.

③ Pintura: Pinte las piezas después de que el cemento esté completamente seco en un lugar bien ventilado y en un día soleado.

① 切斷零件：使用鉗子切斷零件，並使用小刀或銼刀修整零件上殘留的任何毛刺。

② 粘貼零件：試裝確認粘貼位置後，在粘貼面上塗抹少量粘合劑。

※ 注意不要將粘合劑塗在粘貼面以外的部分。

③ 塗漆：待粘合劑完全乾燥後，在通風良好的地方和晴天塗漆。

〈塗装について/Painting〉

● **Mr.COLOR**と水性ホビーカラー、タミヤカラーは混ぜられません。

● ■は株式会社 GSIクレオス **Mr.COLOR**の色番号です。

● H□は株式会社 GSIクレオス 水性ホビーカラーの色番号です。

● X○、XF○はタミヤカラーの色番号です。

★塗料およびプラモデル用接着剤は別にお買い求めください。

●工具、塗料についての詳しい使用法は、各商品の説明をご覧ください。

● Do Not mix Mr. COLOR and AQUEOUS HOBBY COLOR and TAMIYA COLOR.

● ■ mark indicates Mr. COLOR of GSI Creos Corporation.

● H□ mark indicates AQUEOUS HOBBY COLOR of GSI Creos Corporation.

● X○ and XF○ mark indicate TAMIYA COLOR.

★ There is no paint or glue included in the kit. Please purchase them separately.

● For the specific use of each tool and paint, please refer to the instructions of each tool and paint.

● No se puede mezclar pinturas de Mr.Color con AQUEOUS HOBBY COLOR y TAMIYA COLOR.

● ■ es el color de Mr. Color fabricado por GSI Creos Corporation.

● H□ es el color con de AQUEOUS HOBBY COLOR fabricado por GSI Creos Corporation.

● X○ y XF○ es el color de TAMIYA COLOR.

★ El kit no incluye ninguna pintura y/o cola necesaria para su ensamblaje. Es necesaria comprarla por separado.

● Por favor lea las instrucciones de cada pieza para el uso correcto de las útiles y piezas necesarias.

● 不能將水性油漆(Hobby Color)和油性硝基油漆(Mr. Color)混合使用。

● ■為油性硝基油漆的顏色編號。

● H□為日本GSI Creos(科立歐思)公司的水性油漆的顏色編號。

● X○, XF○為TAMIYA的顏色編號。

★請另行購買塗料及塑料模型專用黏合劑。

●有關工具、塗料的具體使用法請閱覽各產品的說明。

Creos	Japanese	English	Spanish	Chinese	TAMIYA
1 H 1	ホワイト(白)	White	BLANCO	光澤白	X-2
3 H 3	レッド(赤)	Red	ROJO	光澤紅	X-7
8 H 8	シルバー(銀)	Silver	PLATA	金屬銀	X-11
9 H 9	ゴールド(金)	Gold	ORO	金屬金	X-12
28 H 18	黒鉄色	Steel	ACERO	金屬黒鐵色	X-10
33 H 12	つや消しブラック	Flat black	NEGRO MATE	消光黒	XF-1
43 H 37	ウッドブラウン	WOOD BROWN	MARRÓN MADERA	半光木棕	XF-2:XF-64=2:3
47 H 90	クリアーレッド	Clear red	ROJO TRANSPARENTE	光澤透明紅	X-27
61 H 76	焼鉄色	Burnt iron	HIERRO QUEMADO	金屬燒鐵	XF-7:XF-56=1:5
75 H 87	メタリックレッド	Metallic red	ROJO METALIZADO	金屬紅	X-11:X-27=1:1
76 H 88	メタリックブルー	Metallic blue	AZUL METALIZADA	金屬藍	X-13
92 H 2 + H 12	セミグロスブラック	Semi-gloss black	NEGRO SEMIMATE	半光黒	X-18
A	HOBBY MIO SP-001 99T YELLOW	TAMIYA X-8 (9) + X-6 (1)	TAMIYA TS-34		
B	8 (1) + 9 (1) 8 (1) + 9 (1)	Silver + Gold	PLATA + ORO	金屬銀 + 金屬金	X-31
C	8 (1) + 30 (1) 8 (1) + 40 (1)	Silver + Flat base	PLATA + BASE PLANA	金屬銀 + 消光添加劑	XF-16
D	92 (1) + 33 (1) 12 (1) + 2 (1)	Semi-gloss black + Flat black	NEGRO SEMIMATE + NEGRO MATE	半光黒 + 消光黒	X-18

〈デカールの貼り方/How to apply decals〉

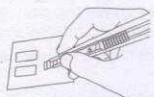
●このキットに入っているデカールを貼る際は、下記の要領で貼ってください。

●Please follow the instruction below when applying decals.

●Estas calcas utilizadas para este modelo de kit son particulares. Siga las instrucciones a continuación cuando aplique las calcomanías.

●此套貼紙是使用的特殊貼紙。黏貼的時候請按照以下要領黏貼。

①



・貼りたいデカールの形に合わせて、はさみやカッターナイフ等でデカールを台紙ごと切り取ります。

・Cut out the decal into the desired shape by scissors and cutter.

・Corta la calcomanía en la forma deseada con unas tijeras y un cortador.

・按照將要黏貼的貼紙的形狀・用剪刀或者小刀等裁取各種形狀的襯紙。

②



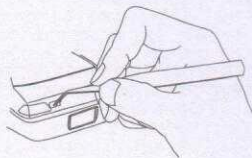
・デカールを水に10~20秒ほど浸します。

・Dip the decal in water for 10 to 20 seconds.

・Sumerja la calcomanía en agua durante 10 a 20 segundos.

・貼紙用水蘸濕10~20秒左右。

③



・貼りたい所に台紙ごとデカールを置き、ピンセット等でデカールを台紙から静かにずらします。

・Decal the position and adjust it while sliding the decal from its backing sheet with tweezers.

・Put the decal on the desired place and slide it gently from its backing sheet by tweezers.

・Adjust the decal position and excess water with a soft cloth.

・Coloque la calcomanía en el lugar deseado y deslicela suavemente formando su hoja de respaldo con unas pinzas.

・Ajuste la posición de la calcomanía y el exceso de agua con un paño suave.

・將各貼紙放在準備黏貼的地方・用鑷子等將貼紙從襯紙上輕輕地移下來。

・一邊調整貼紙的位置・一邊用軟布將水分擦掉。

※デカールの上からクリアーを吹く時は、「水性ホビーカラー」または「トップコート(水性スプレー)」をご使用ください。

※Please use water paint or top coat when spraying over decals

※Utilice pintura al agua o una capa superior al rociar sobre las calcomanías.

※從貼紙上方噴塗透明漆時・請使用「水性HOBBY COLOR」或者「面漆(水性噴液)」。

⚠ 作る前にご用意下さい

Prepare these tools before assembly.
Prepara estas herramientas antes del montaje. 制作前請準備好。



ニッパー カッター ピンセット プラモデル用接着剤
nipper/alicates/鉗子 cutter/cuchillos/刀具
plastic cement/cemento plastico/塑料模型用膠水
destornillador/driver/螺絲起子

ピンバイスとドリル ドライバー
tweezers/pinzas/鑷子
pinvice&drill/pinvice/開孔器

●用意するドリル:0.6mm、1.0mm、1.2mm、1.6mmのドリルをします Use 0.6mm, 1.0mm, 1.2mm, 1.6mm drill.

〈アイコンの意味/Icon definition〉

x2

2個作る
Make 2 pieces
Hacer 2 piezas
做2個

x4

4個作る
Make 4 pieces
Hacer 4 piezas
做4個

注意
Caution
Precaución
警告

接着しない
No Cement
Sin cemento
不黏貼

裏から塗装します。
Paint on the back side
Pintar en la parte de atrás
從內面塗漆

どちらか選ぶ
Choice
Eleccion
請任意選擇一組裝

反対側

(1)内は反対側のパーツ(デカール番号)
Same for the other side
Lo mismo para el otro lado
(1)內為反側零件(貼紙)號

剥離

接着面のメッキをはがす
Peel off plating
Pelar el revestimiento
剝掉黏結面的鍍膜

切り離す
Cut off
Cortar
切取

掘削
Bore a hole
Perforar un agujero
鑽孔

D

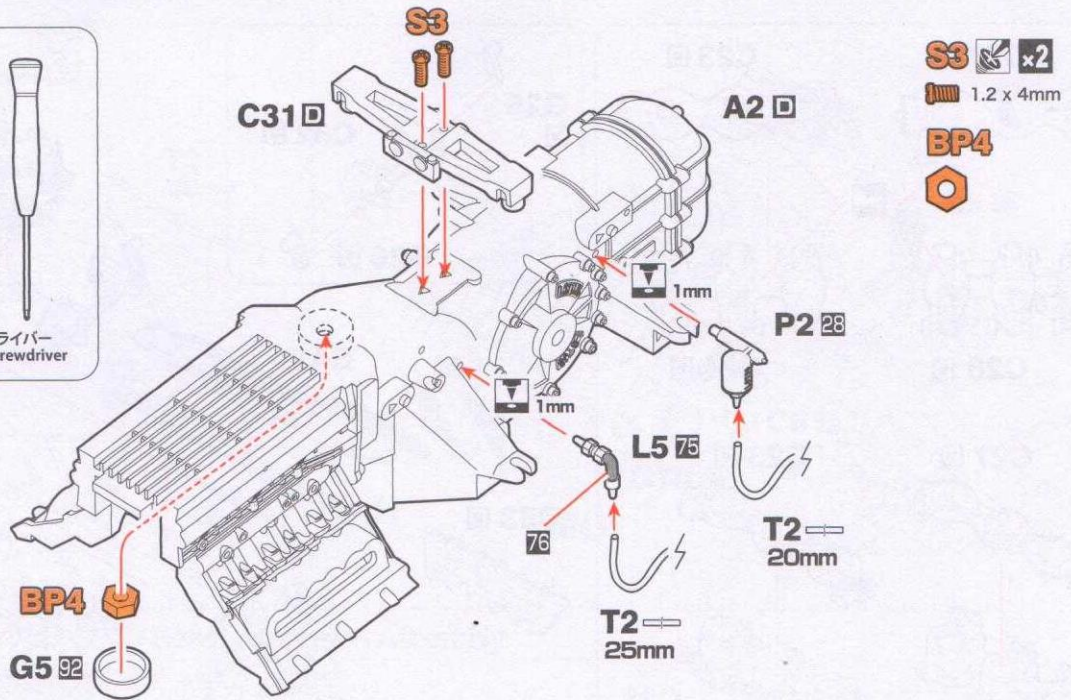
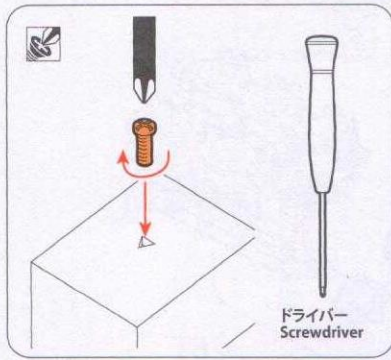
デカールを貼る
Place decals
Colocar calcomanías
黏貼紙

1

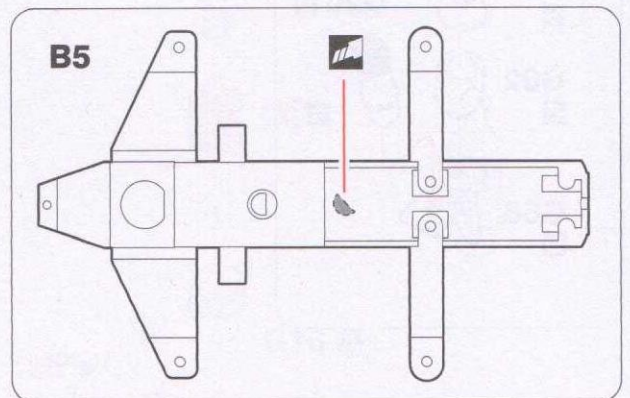
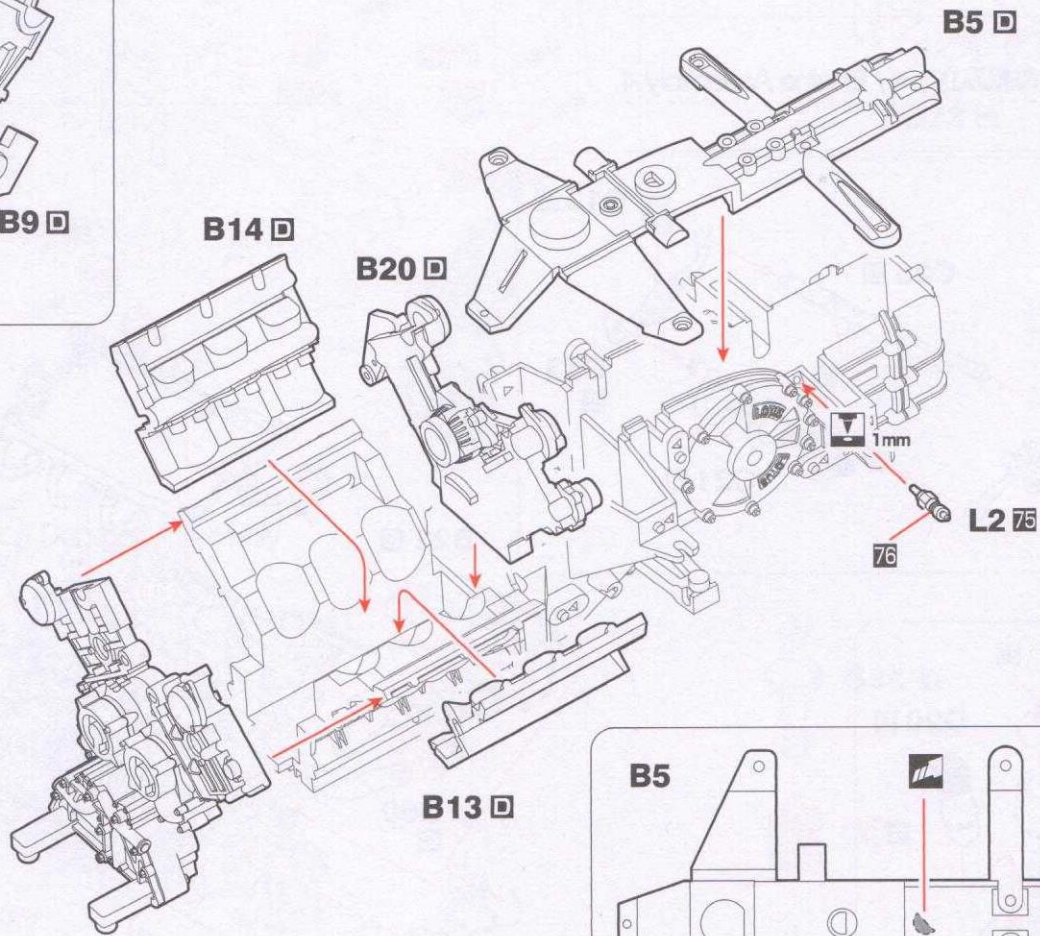
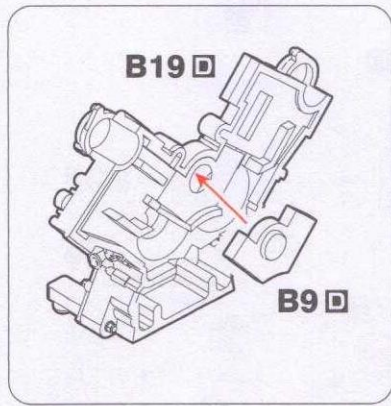
組み立ての順序
order of assembly
orden de montaje
組裝順序

金属ビスを使用します
Use metal screws
Usar tornillos de metal
使用金屬螺絲

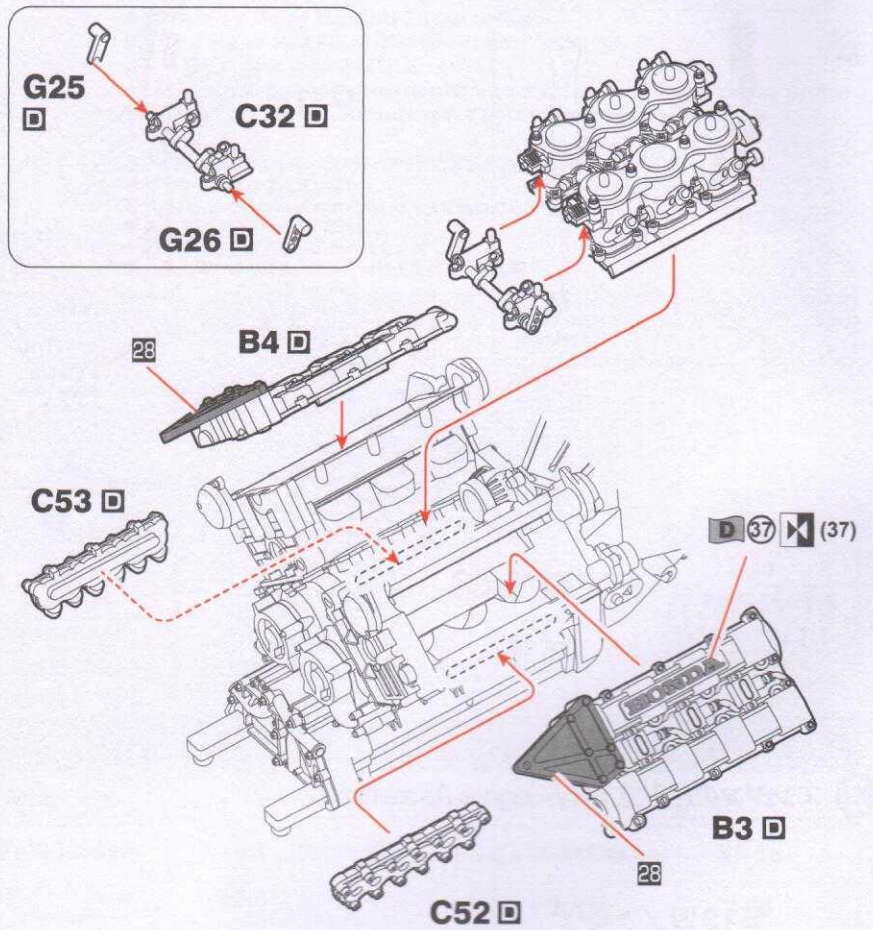
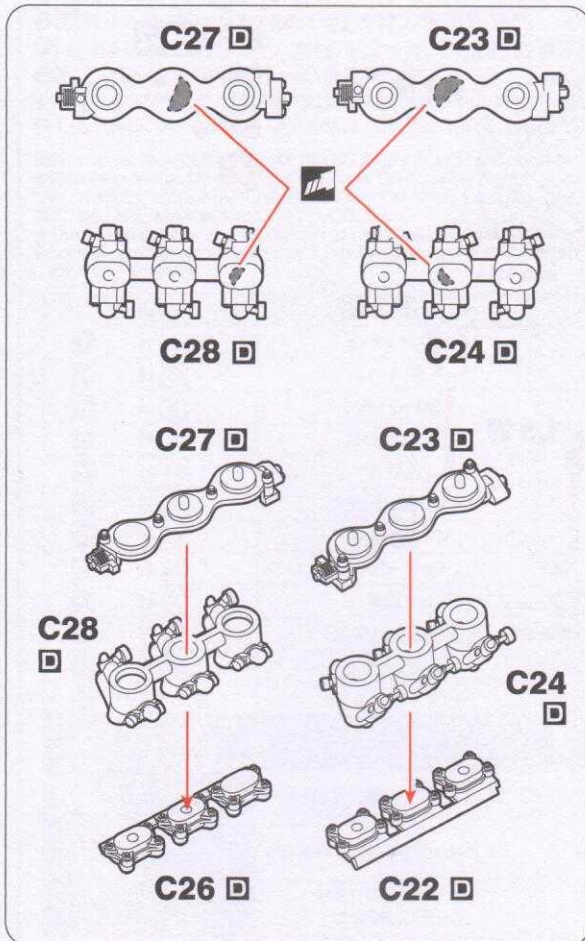
1 エンジンの組み立て1 / Engine Assembly 1



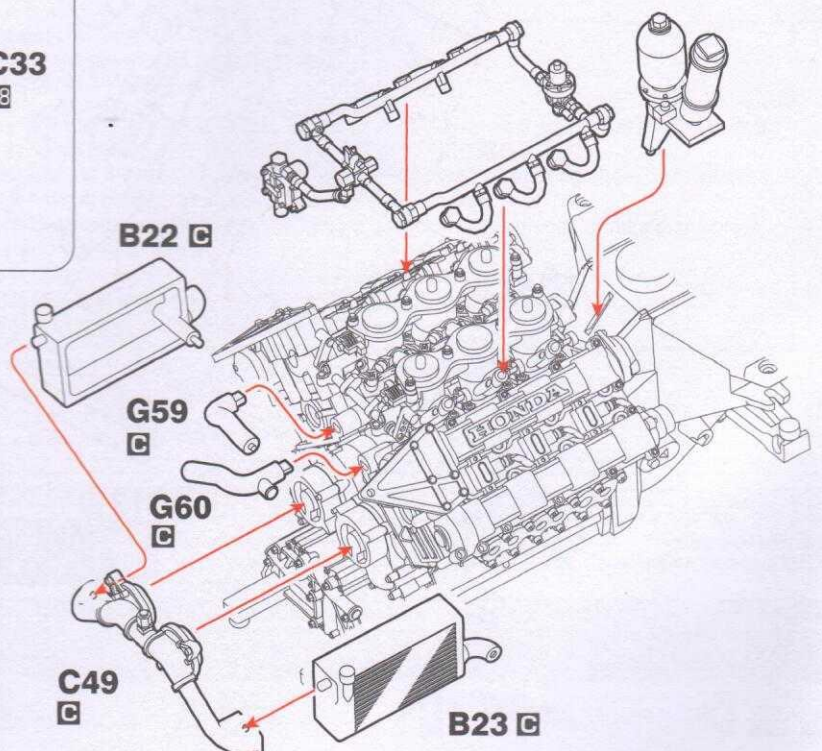
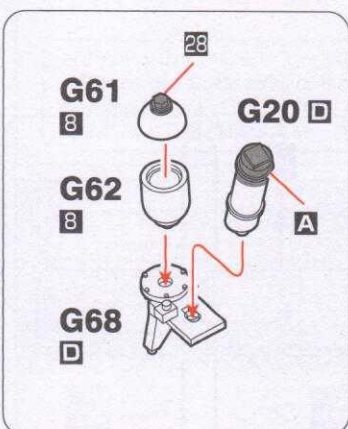
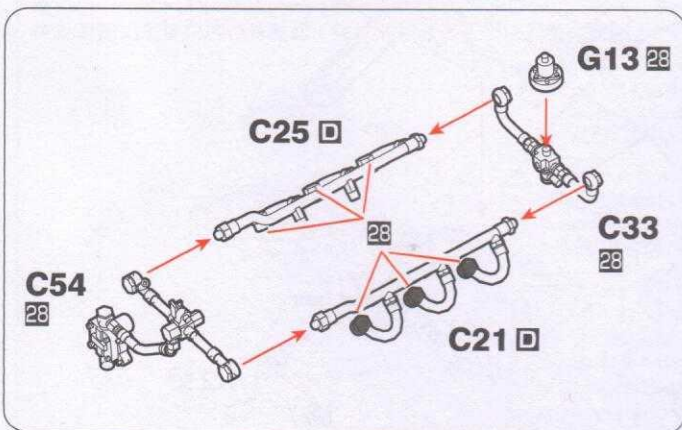
2 エンジンの組み立て2 / Engine Assembly 2



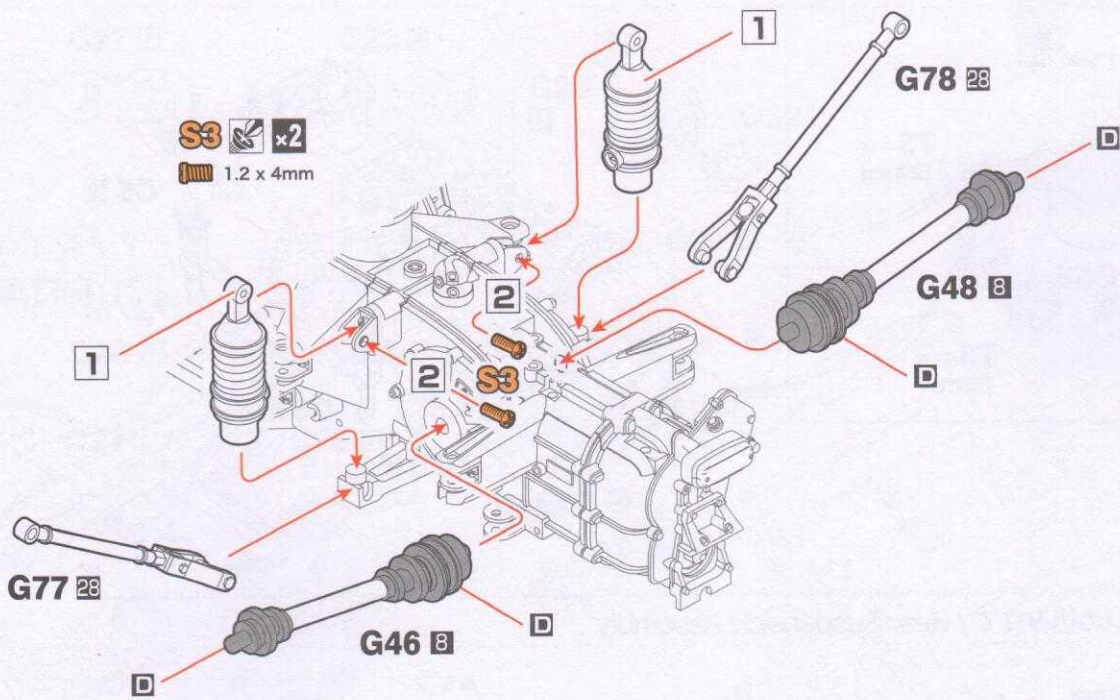
3 エンジンの組み立て3 / Engine Assembly 3



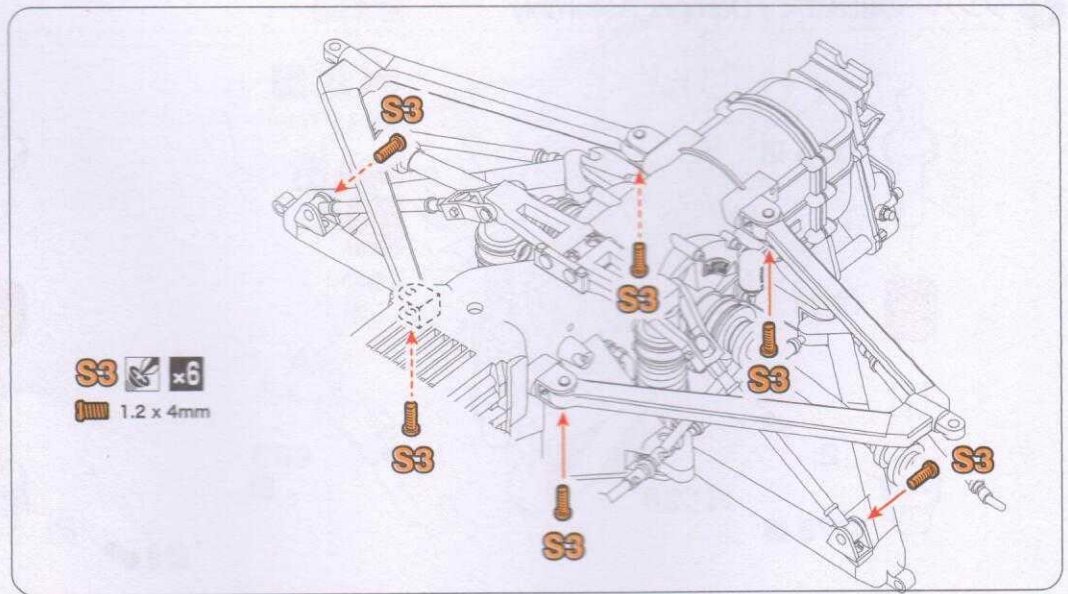
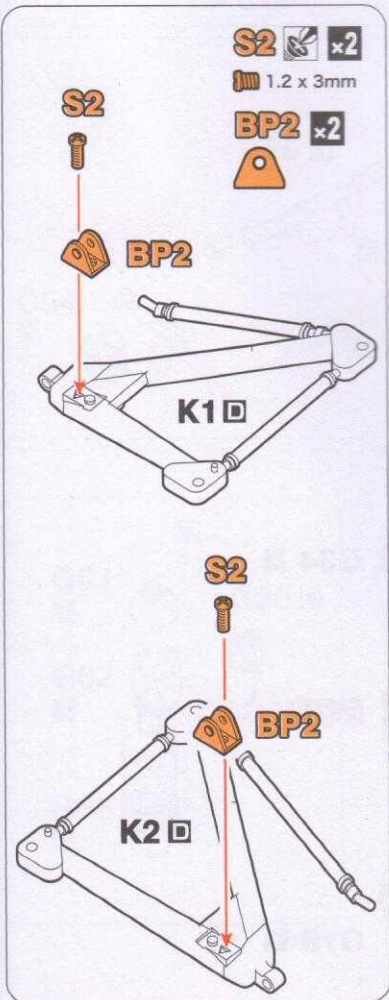
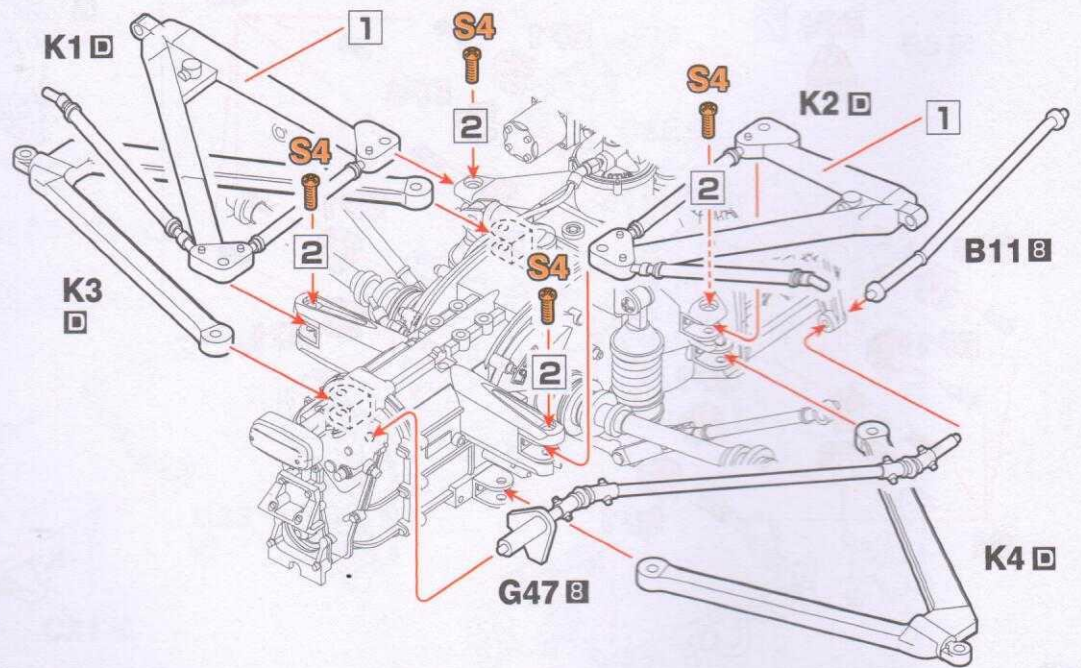
4 エンジンの組み立て4 / Engine Assembly 4



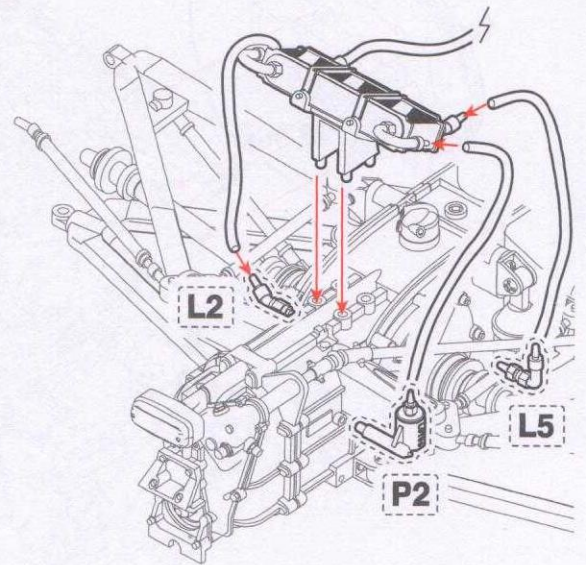
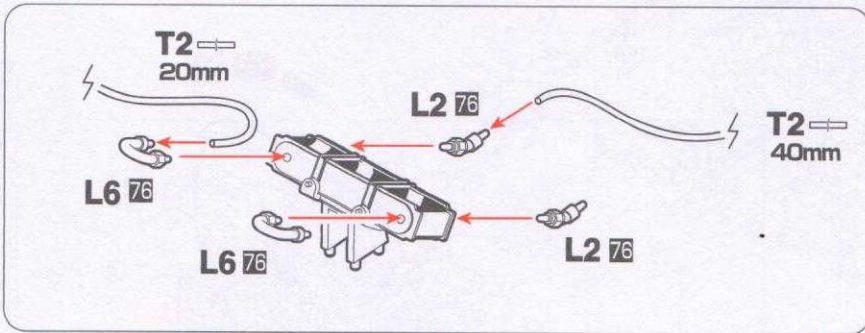
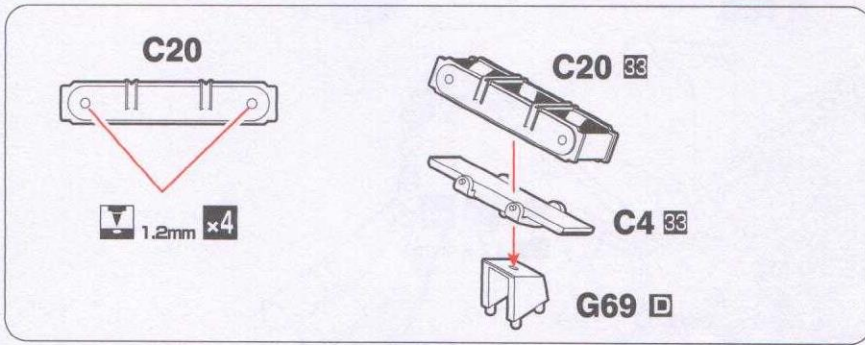
8 ドライブシャフトの取り付け / Drive Shaft Assembly



9 リアサスペンションアームの取り付け / Rear Suspension Arms Assembly

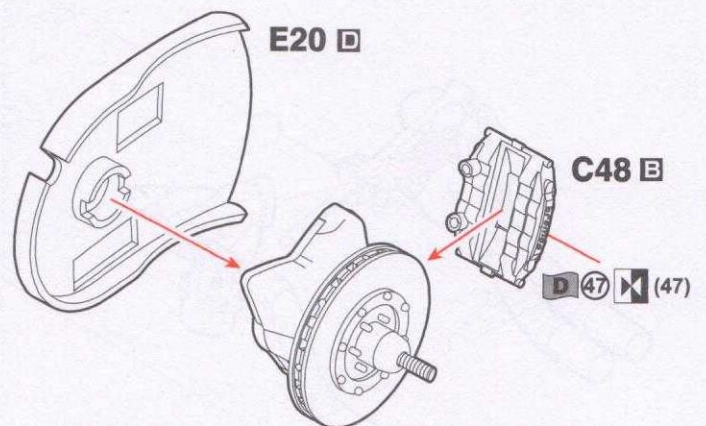
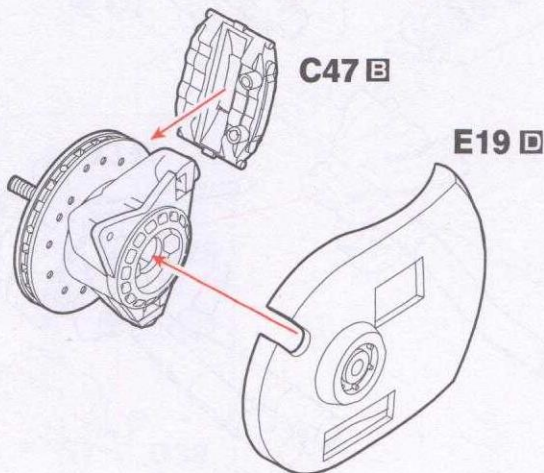
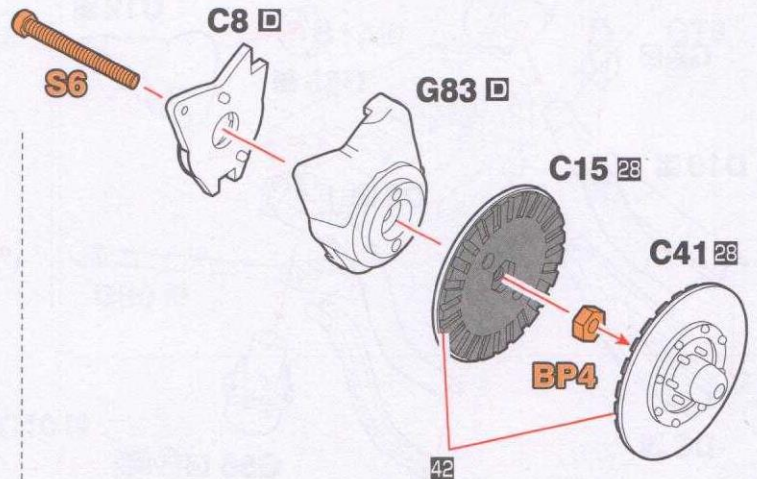
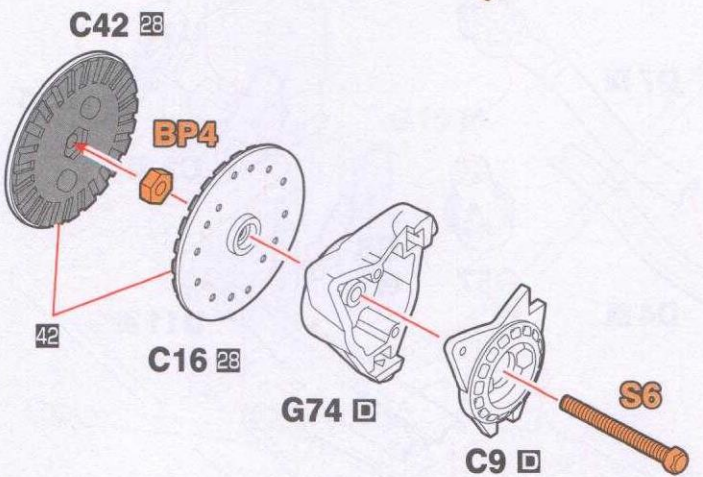
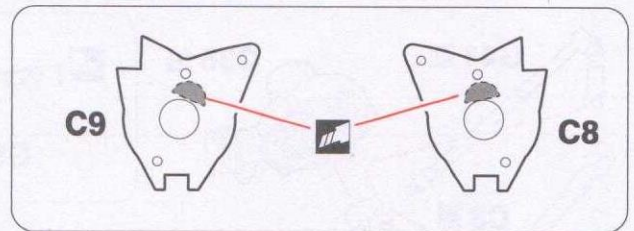


10 ギアボックスオイルクーラーの組み立て / Gearbox Oil Cooler Assembly

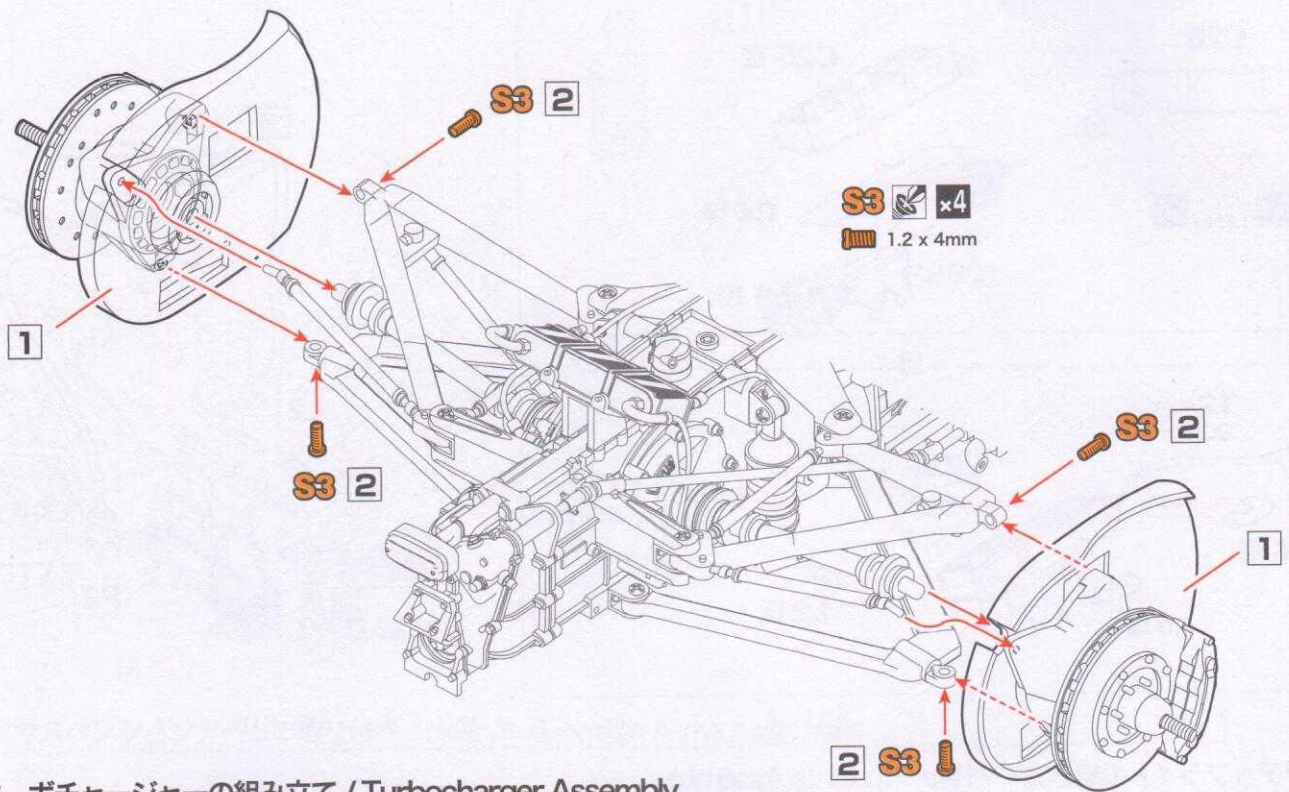


11 リアアップライトの組み立て / Rear Uprights Assembly

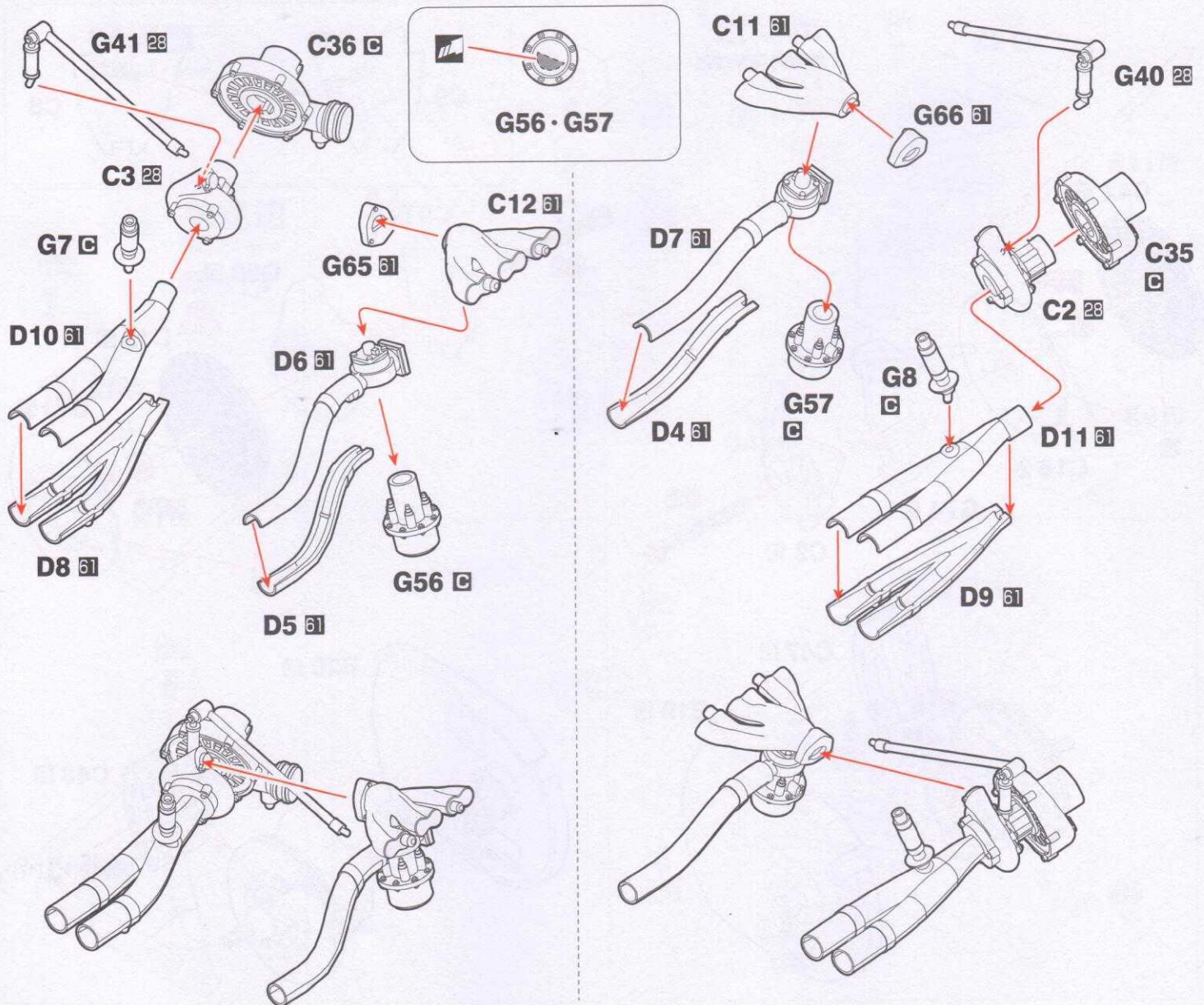
- S6 2 x 20mm
- BP4 x2



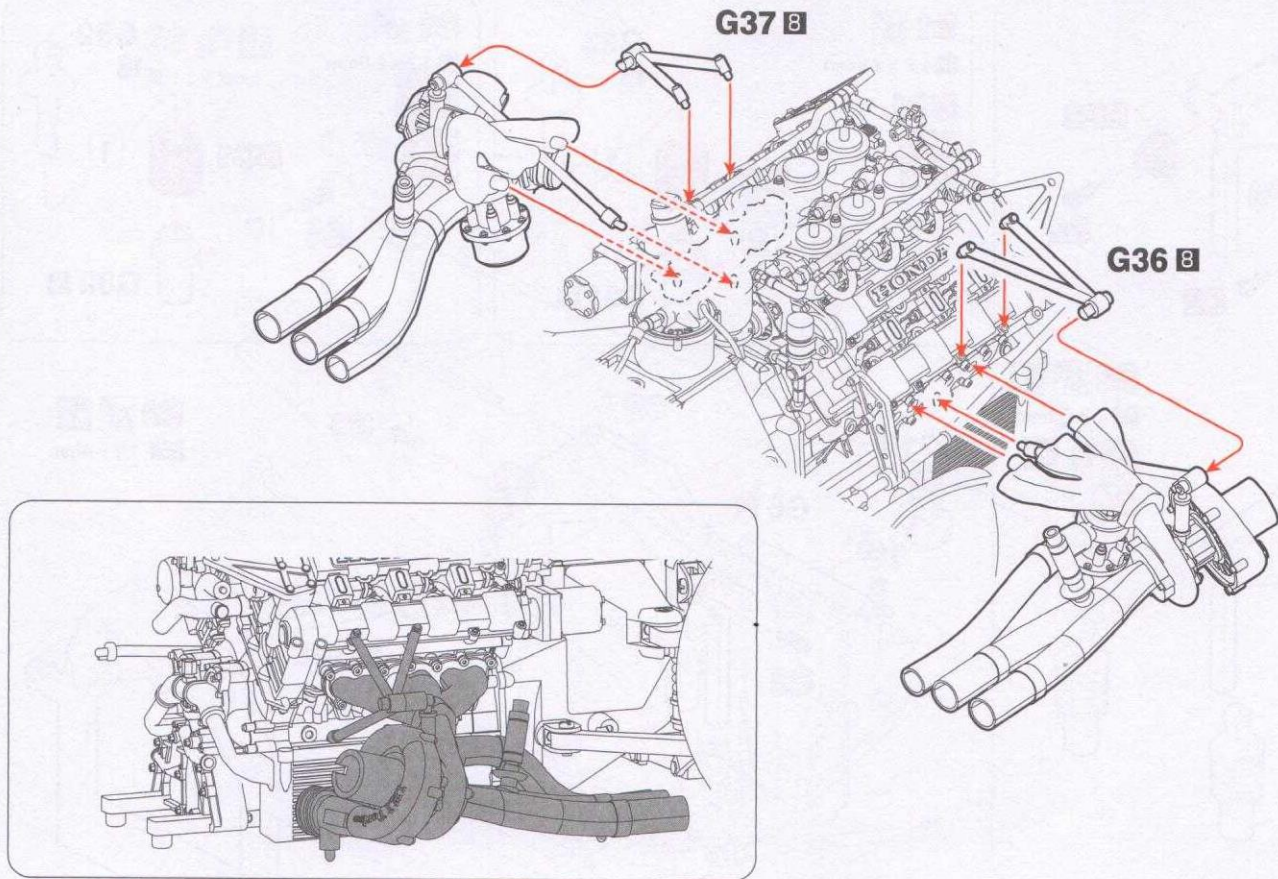
12 リアアップライトの取り付け / Attaching Rear Uprights



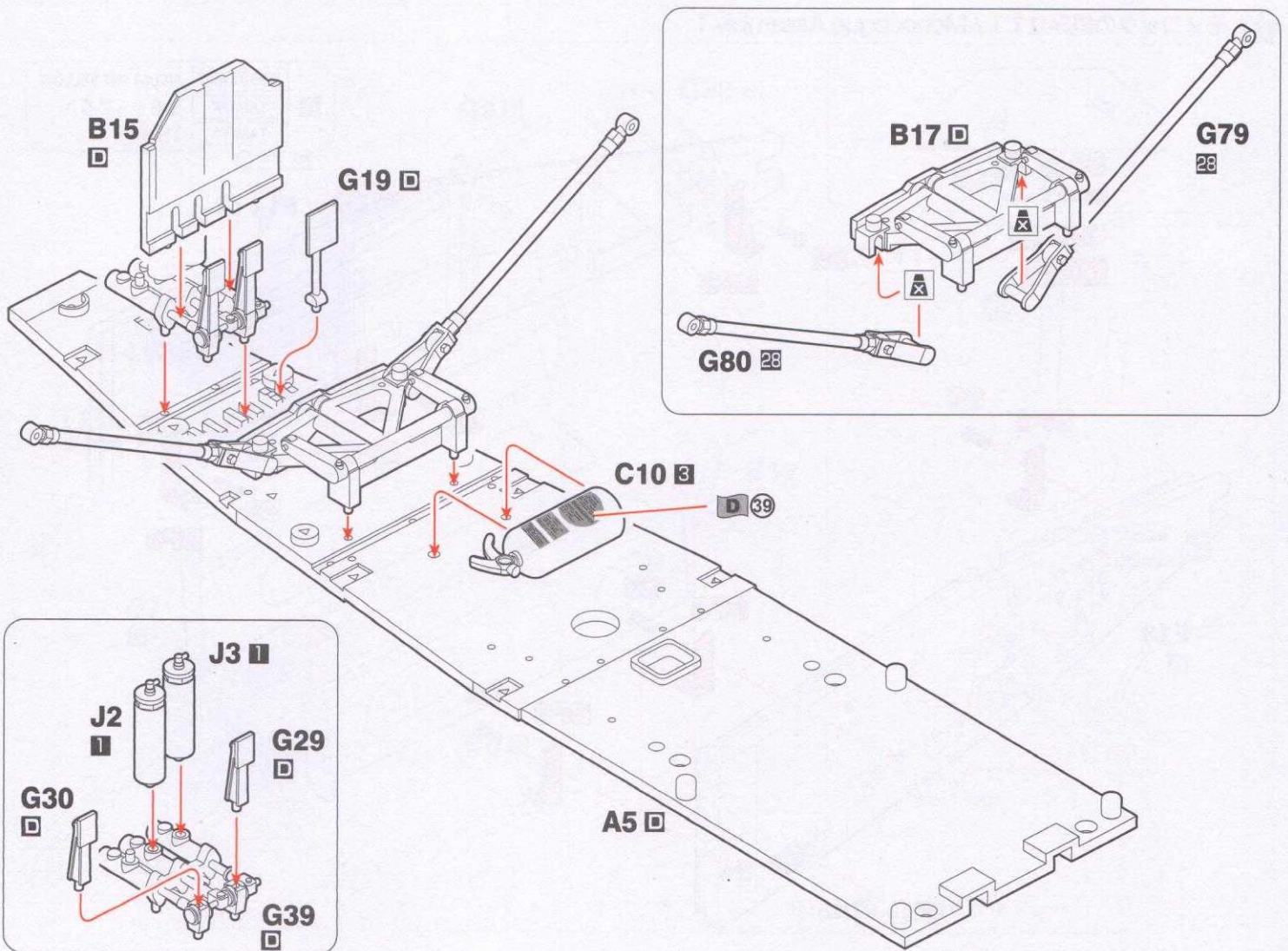
13 ターボチャージャーの組み立て / Turbocharger Assembly



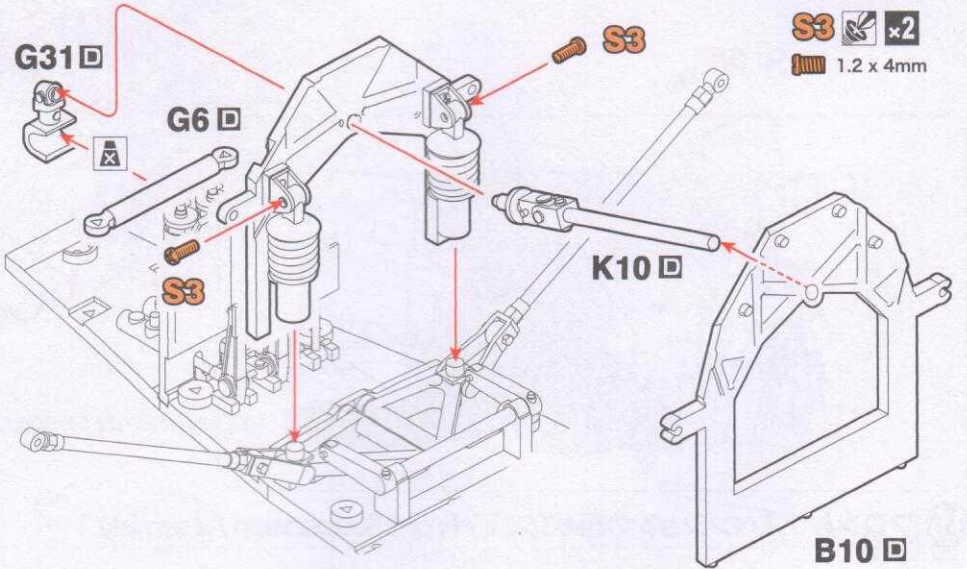
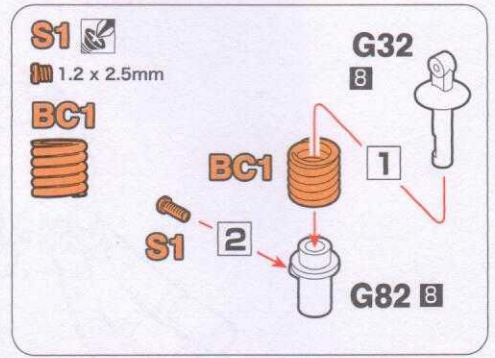
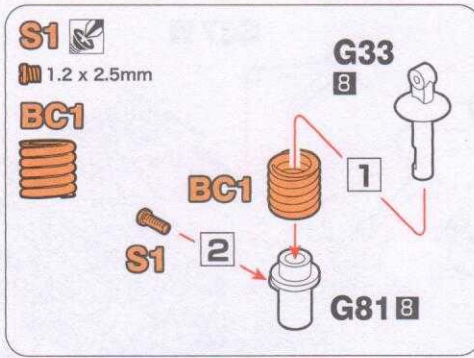
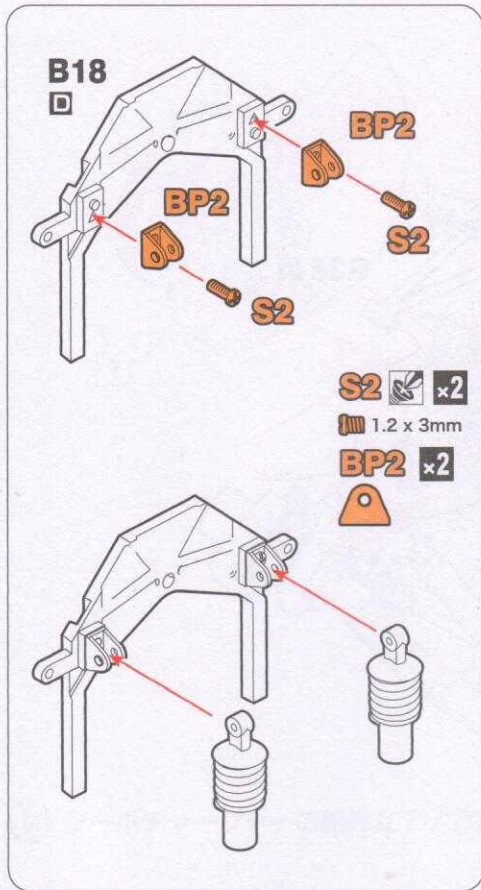
14 排気管の取り付け / Exhaust pipes Assembly



15 フロントサスペンションの組み立て1 / Front Suspension Assembly 1

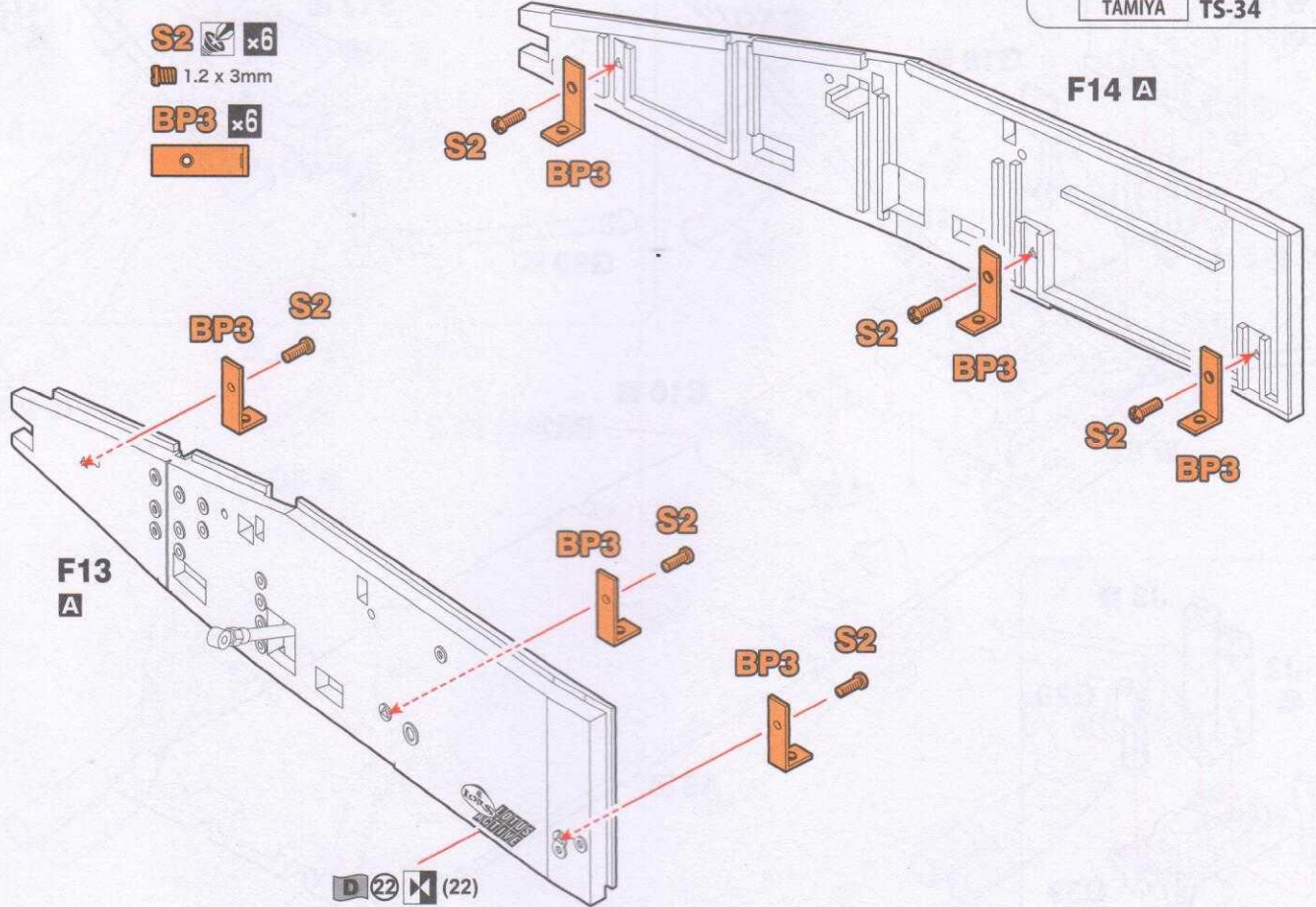


16 フロントサスペンションの組み立て2 / Front Suspension Assembly 2



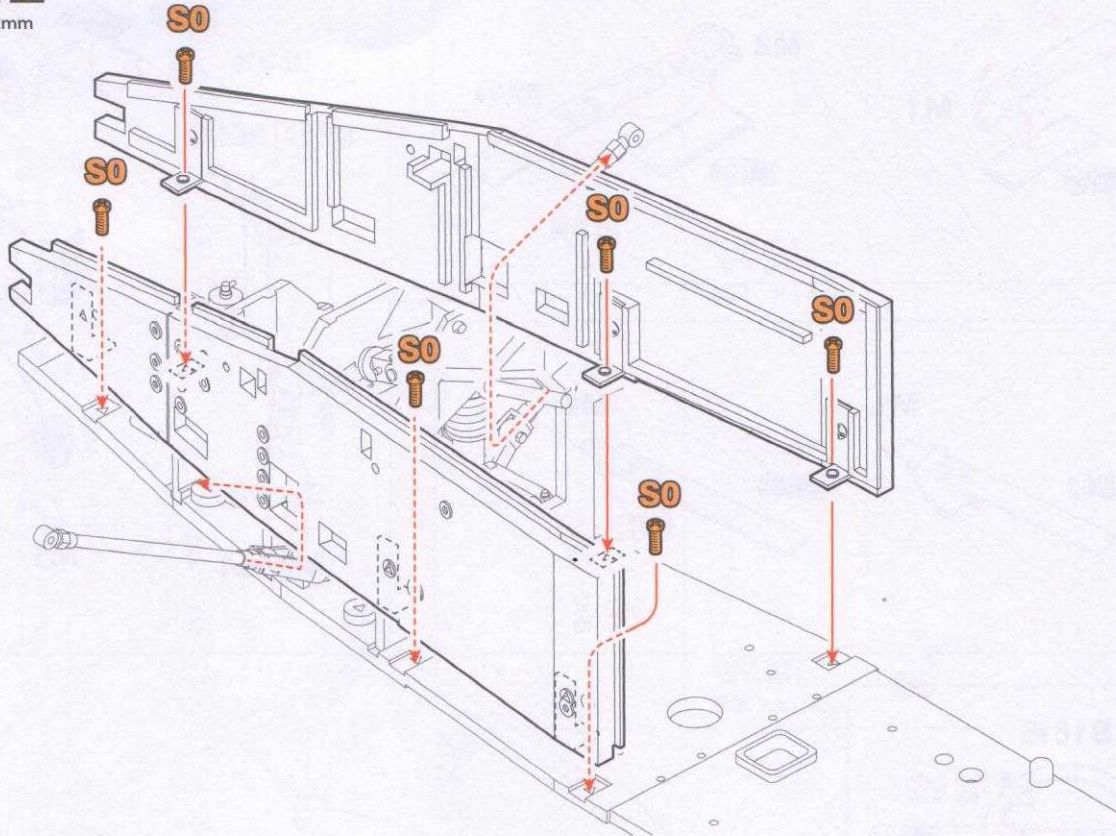
17 モノコックの組み立て1 / Monocoque Assembly 1

HOBBY MIO	SP-001 99T YELLOW
A TAMIYA	X-8 (9) + X-6 (1)
TAMIYA	TS-34

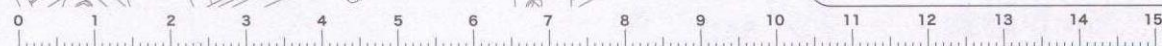
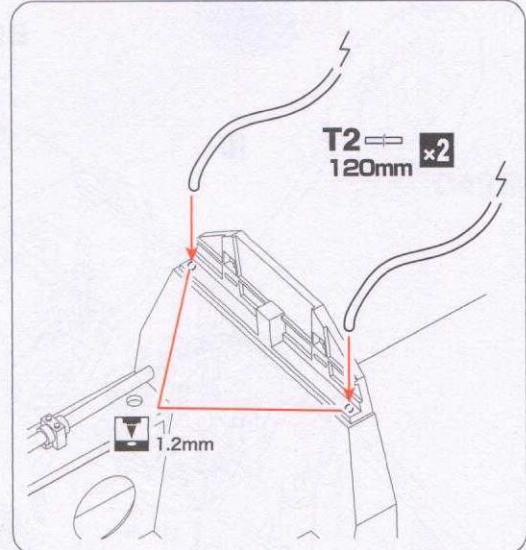
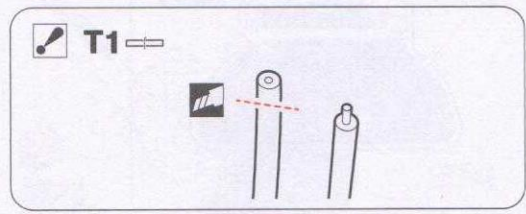
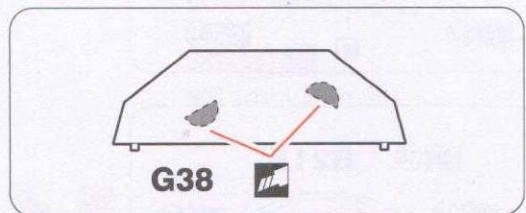
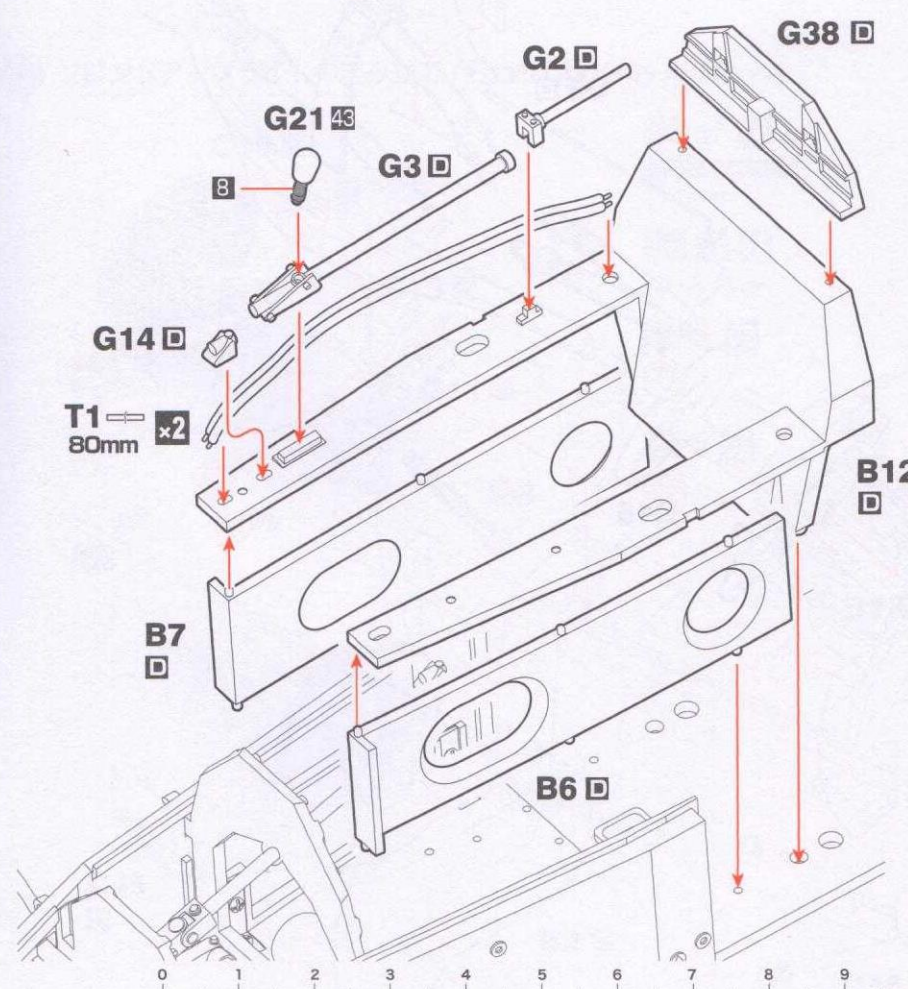


18 モノコックの組み立て2 / Monocoque Assembly 2

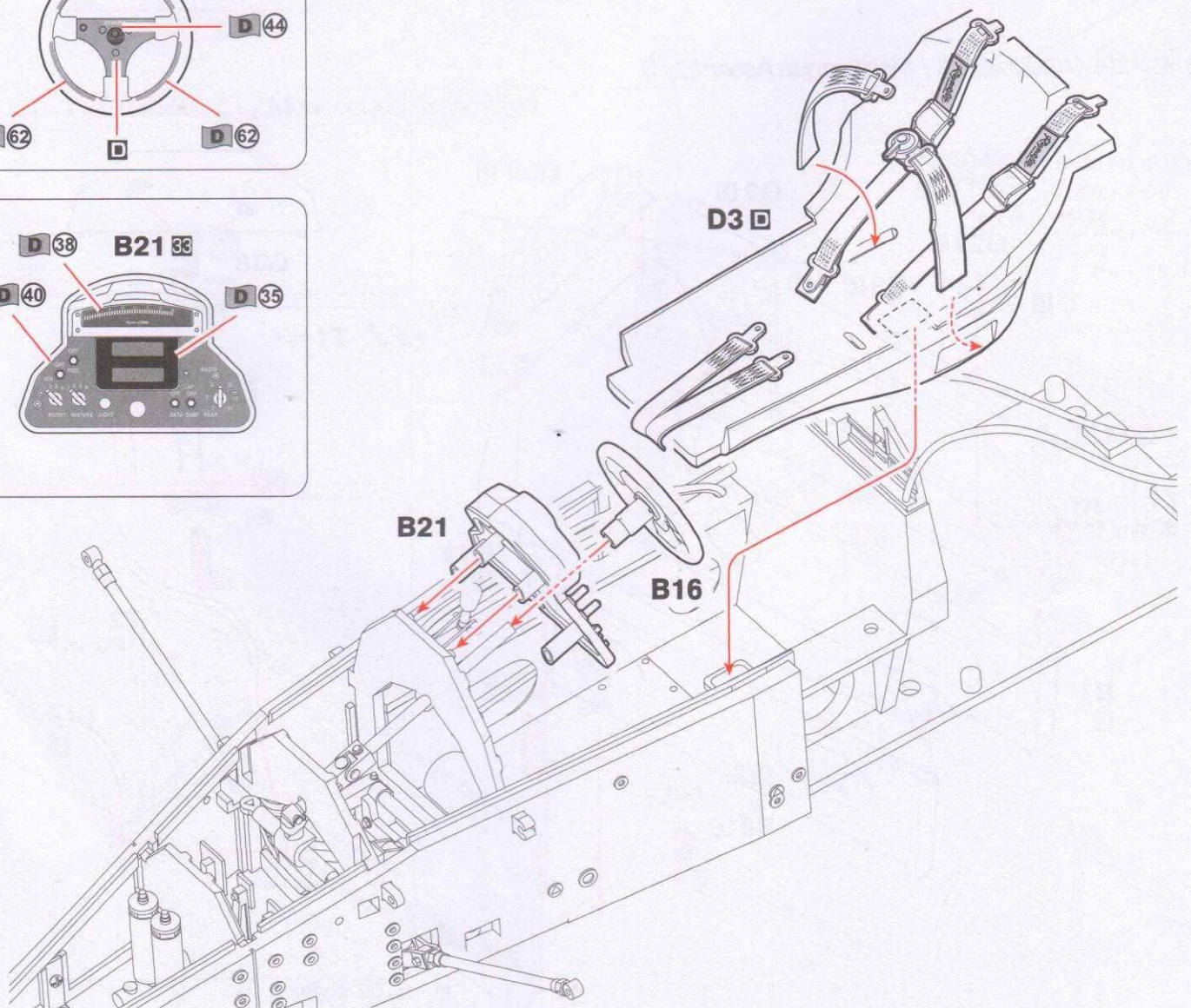
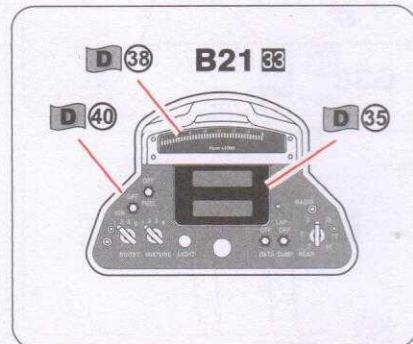
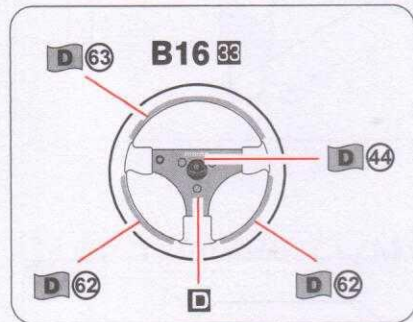
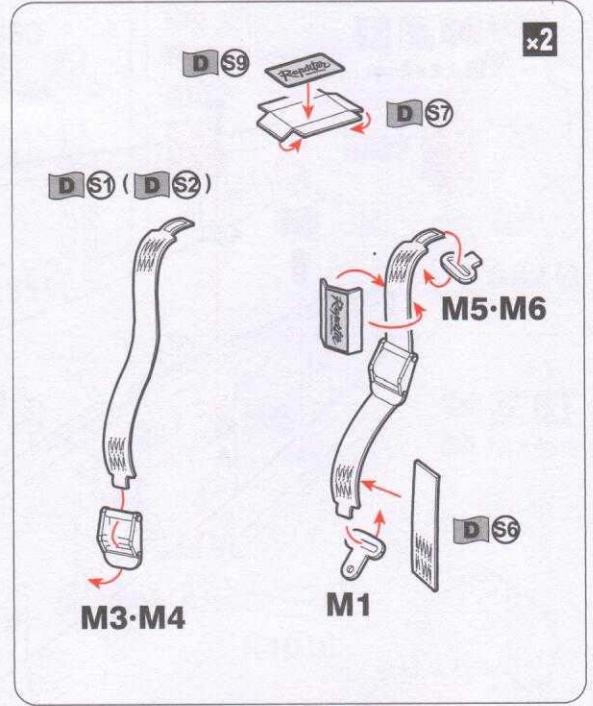
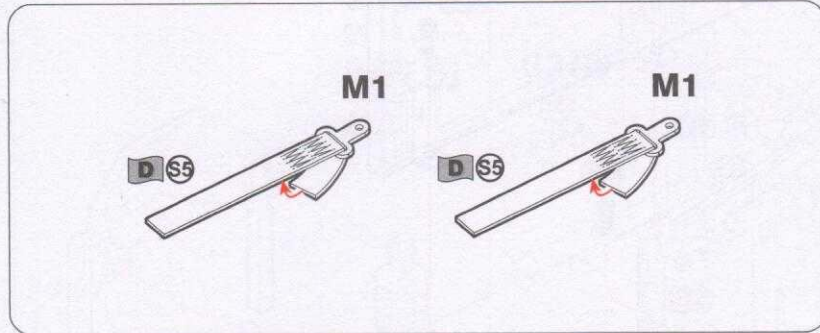
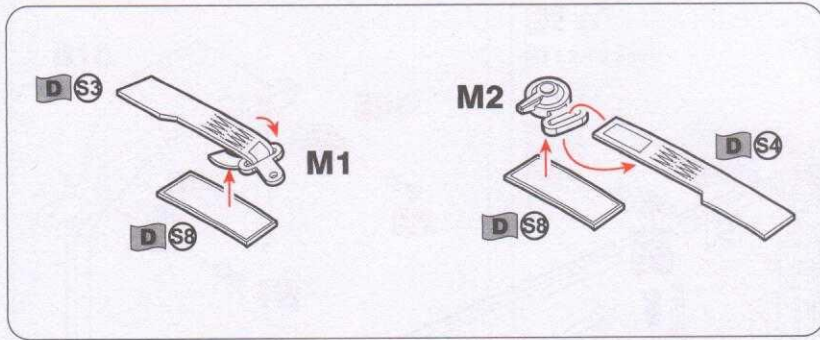
S0  x6
 1.2 x 2mm



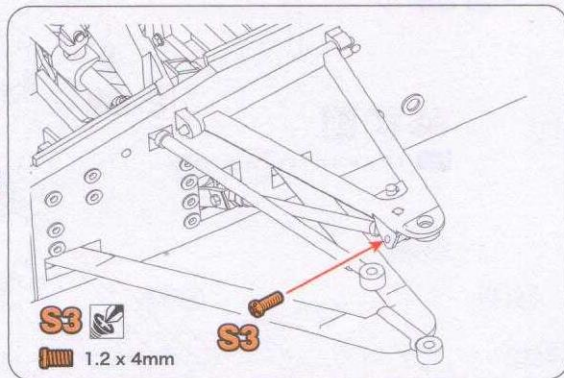
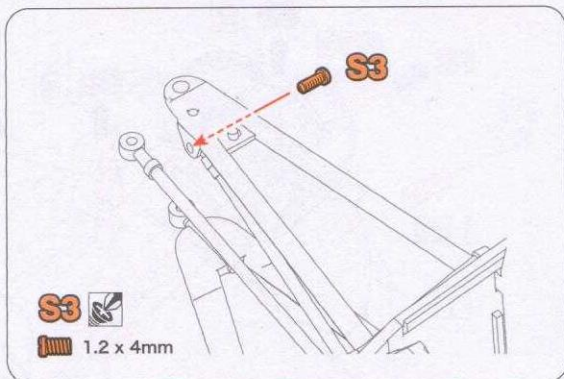
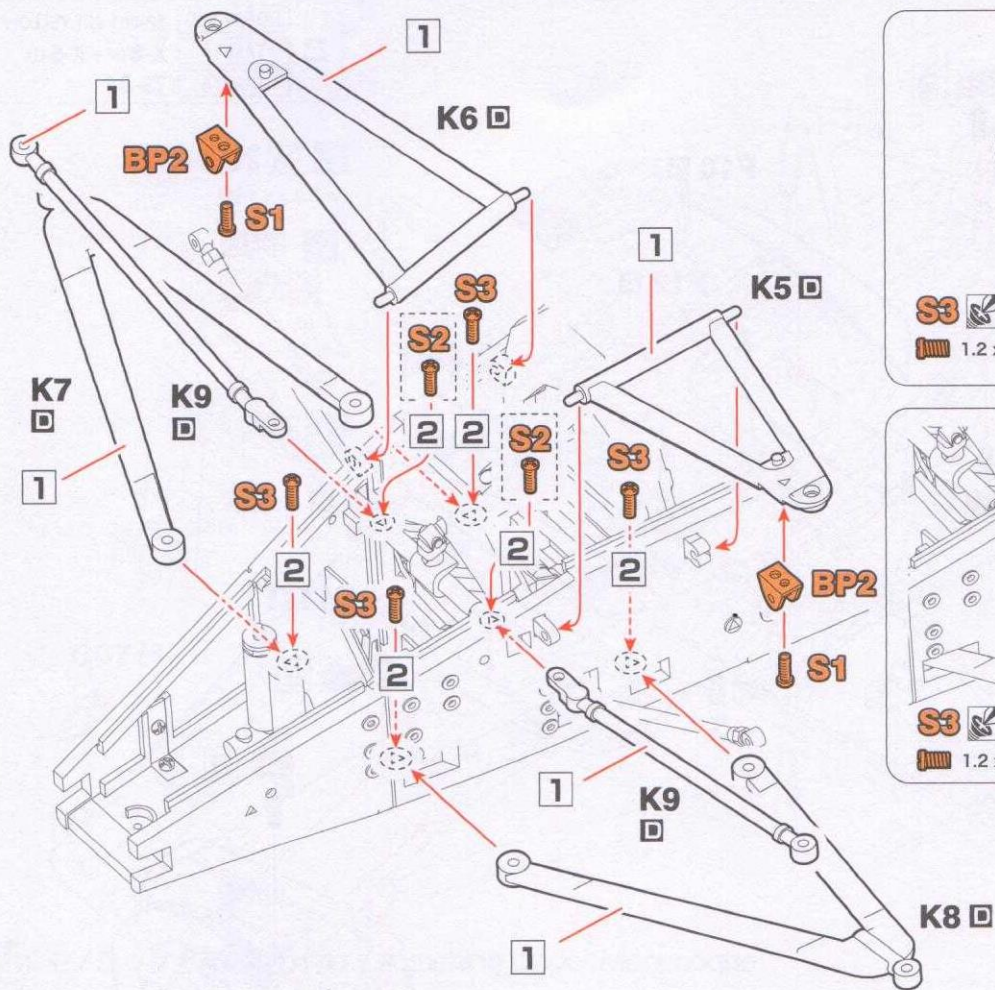
19 モノコックの組み立て3 / Monocoque Assembly 3



20 ドライバースートの組み立て 1 / Driver's Seat Assembly 1



21 フロントサスペンションアームの取り付け / Front Suspension Arms Assembly



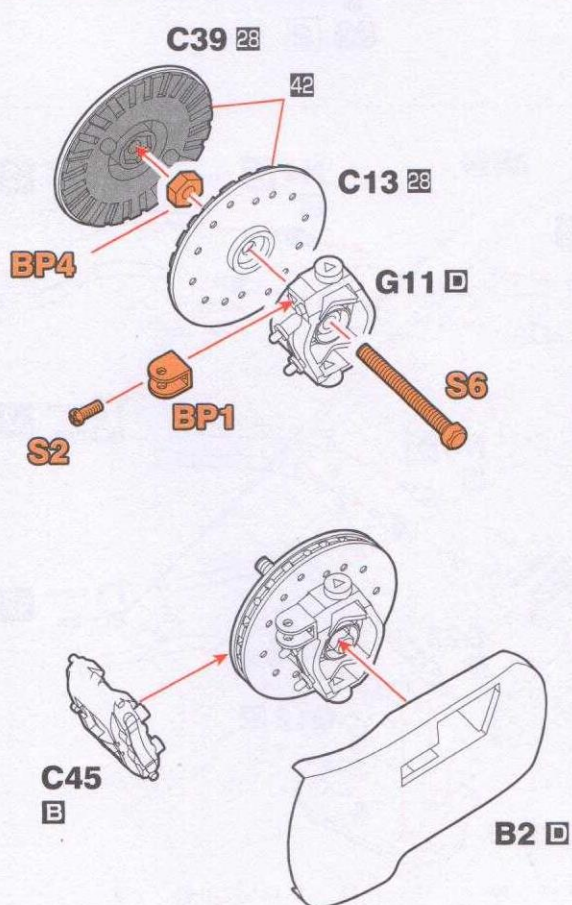
S1 x2
1.2 x 2.5mm

BP2 x2

S2 x2
1.2 x 3mm

S3 x4
1.2 x 4mm

22 フロントアップライトの組み立て / Front Uprights Assembly

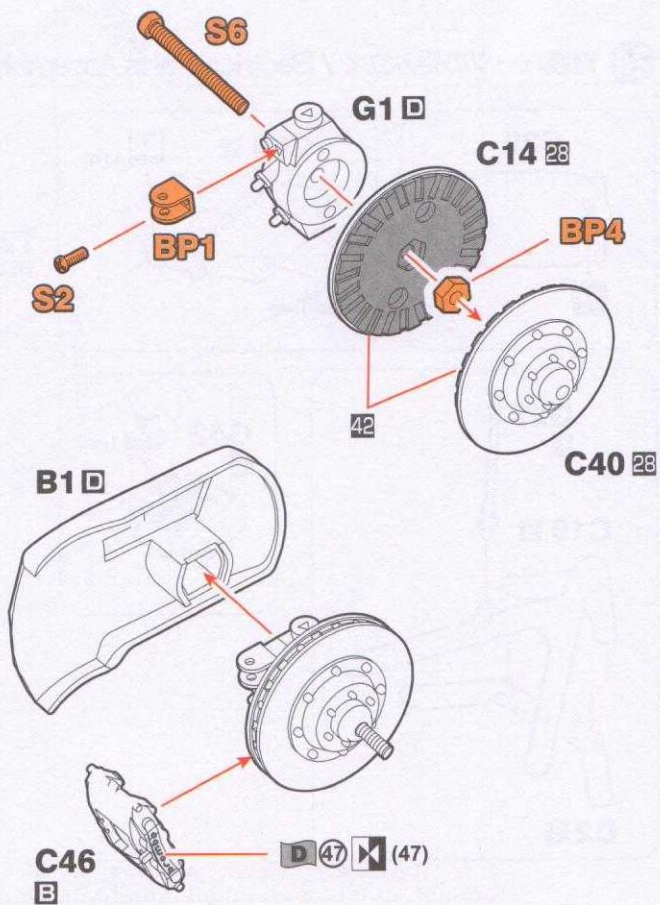


S6 x2
2 x 20mm

S2 x2
1.2 x 3mm

BP4 x2

BP1 x2



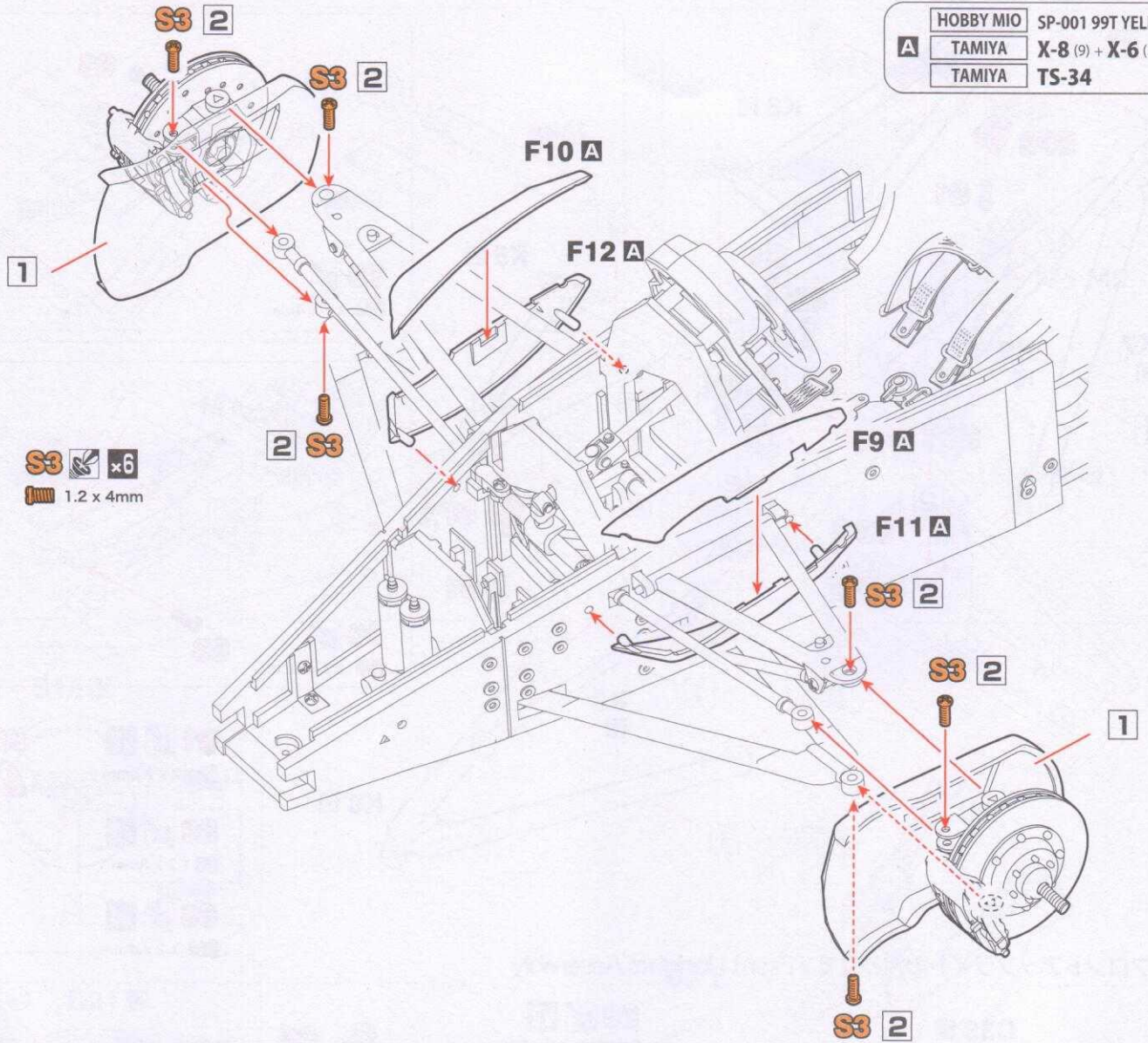
B1

C46

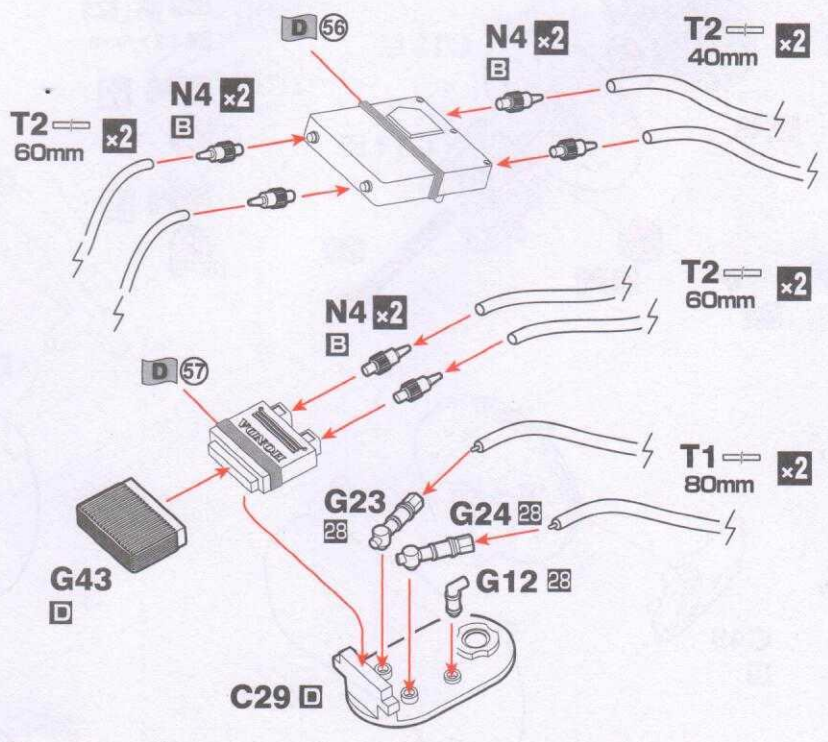
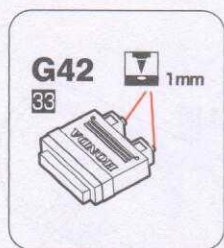
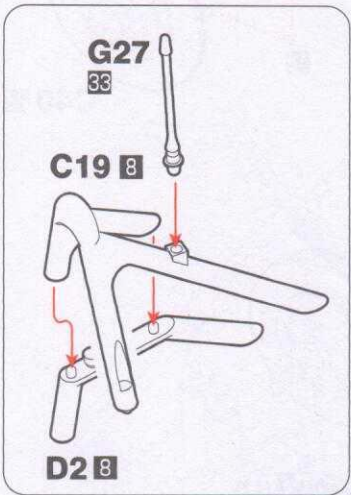
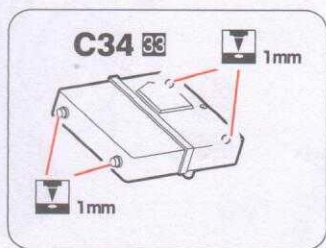
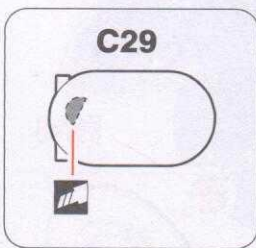
D (47) **K** (47)

23 フロントアップライトの取り付け / Attaching Front Uprights

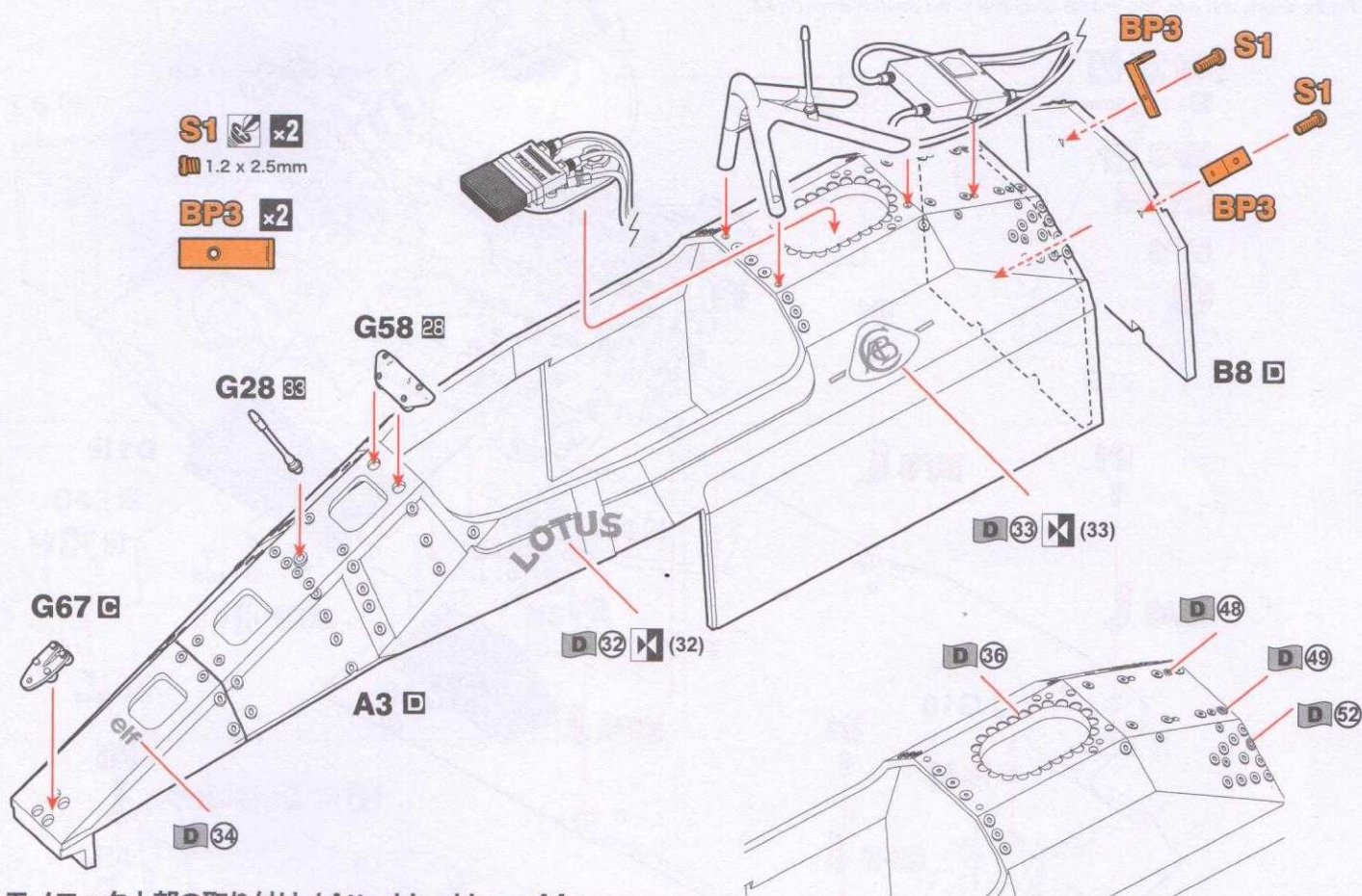
	HOBBY MIO	SP-001 99T YELLOW
A	TAMIYA	X-8 (9) + X-6 (1)
	TAMIYA	TS-34



24 電装パーツの組み立て / Electrical Parts Assembly

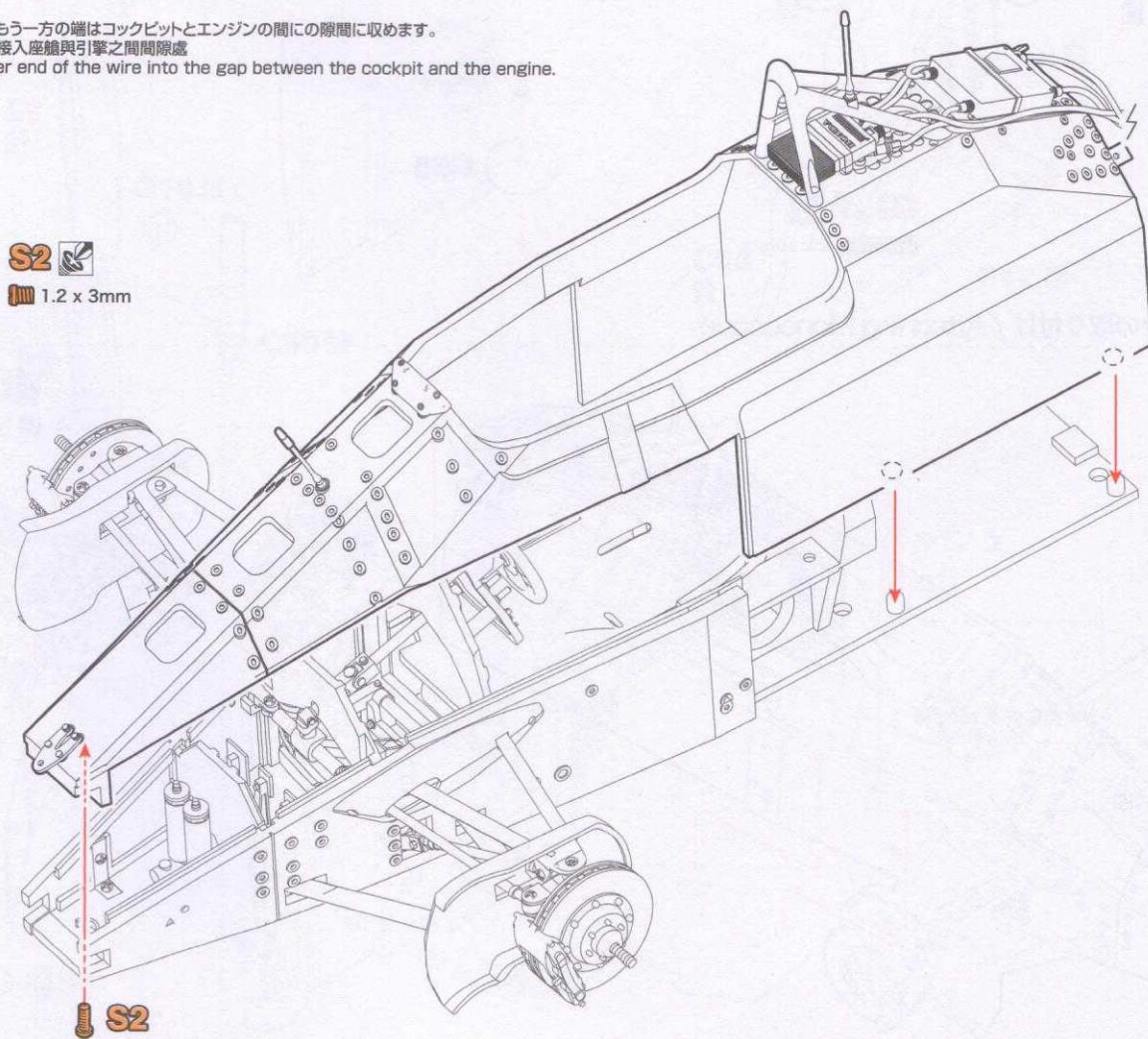


25 モノコック上部の組み立て / Upper Monocoque Assembly



26 モノコック上部の取り付け / Attaching Upper Monocoque


※ワイヤーのもう一方の端はコックピットとエンジンの間隙に取めます。
電線の另一端接入座艙與引擎之間隙處
Put the other end of the wire into the gap between the cockpit and the engine.



27 エンジンの取り付け / Attaching Engine

※エンジンユニットはA4の図の位置に合わせてC56,S5で固定します。
Fix the engine unit with C56 and S5 according to the position shown in A4.

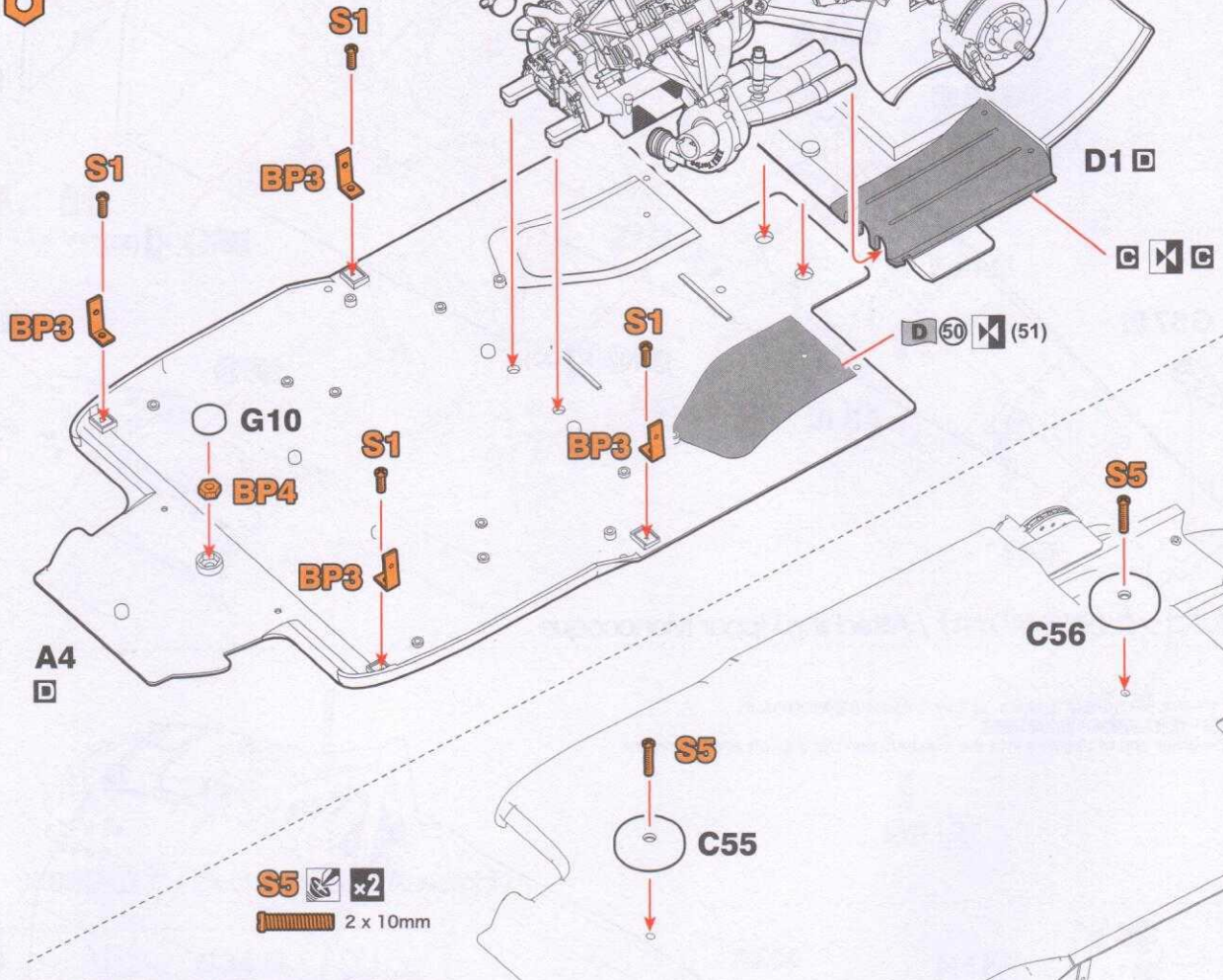
S1  **x4**

 **1.2 x 2.5mm**

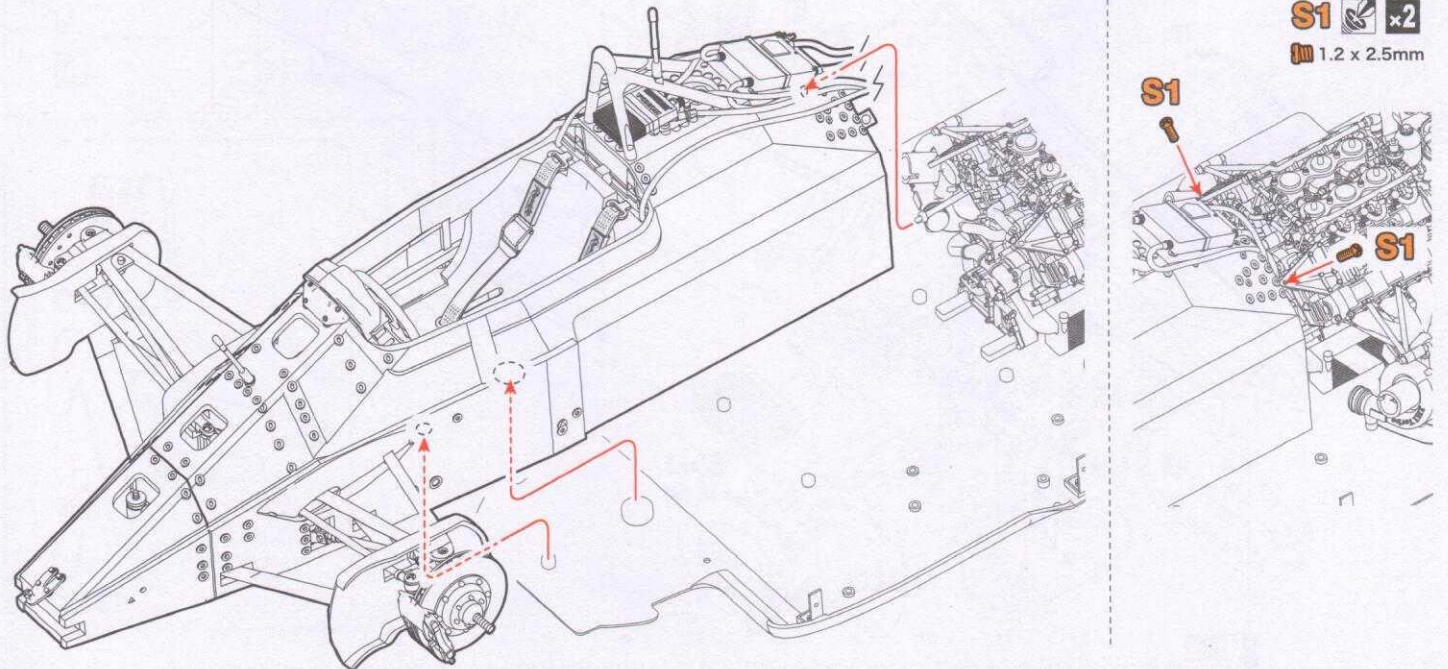
BP3 **x4**



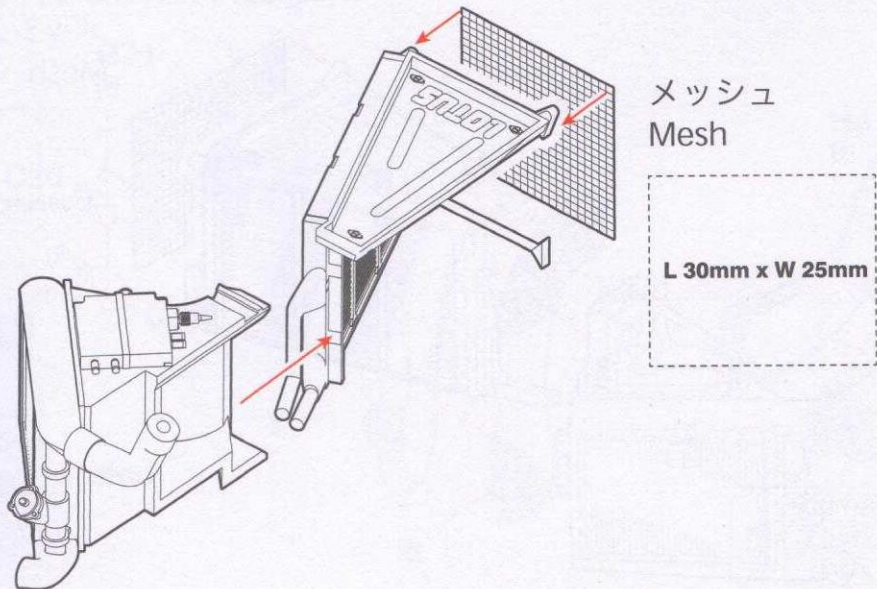
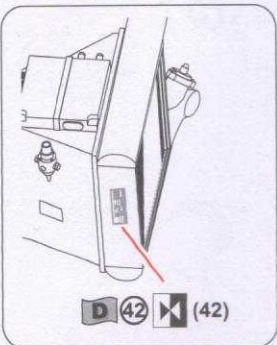
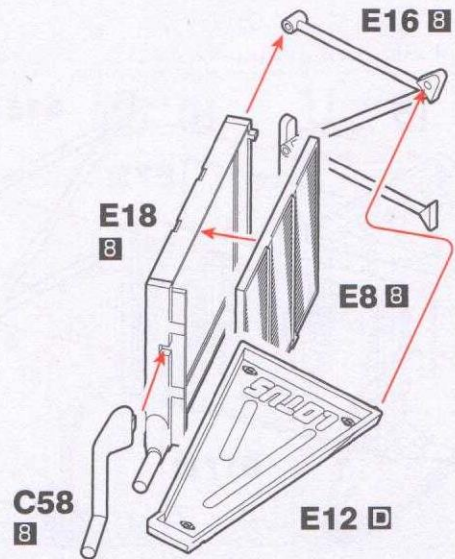
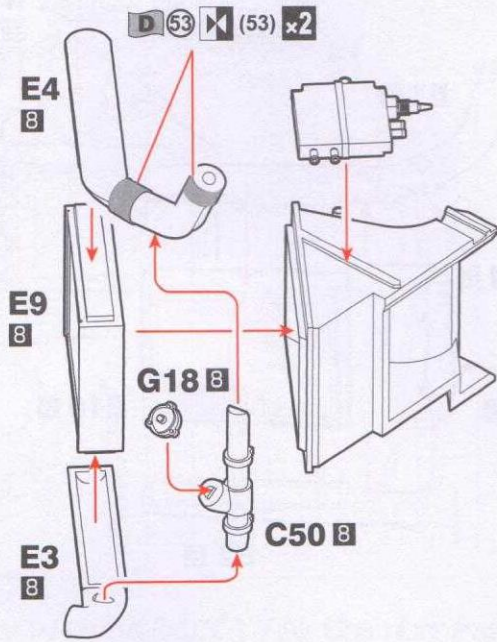
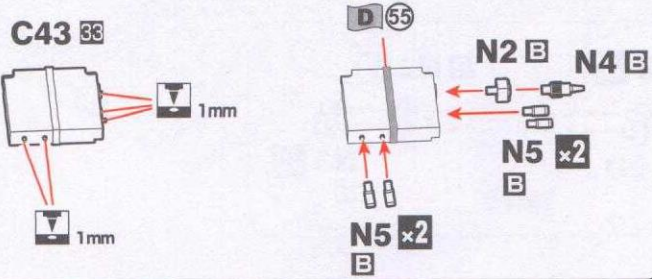
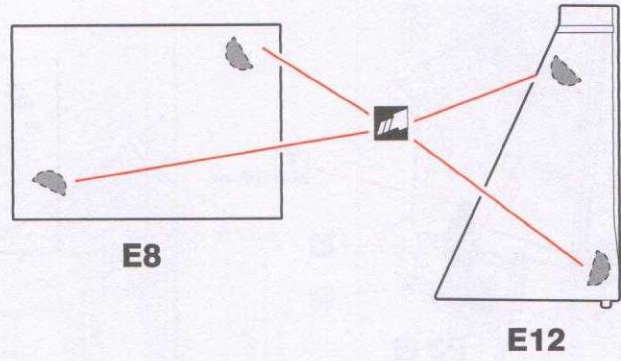
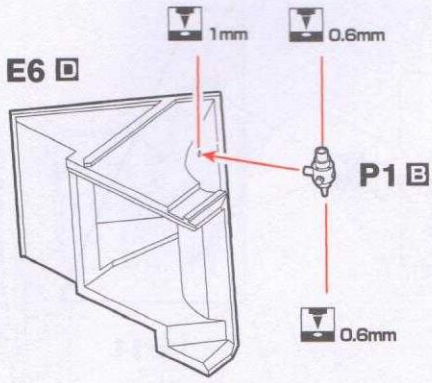
BP4

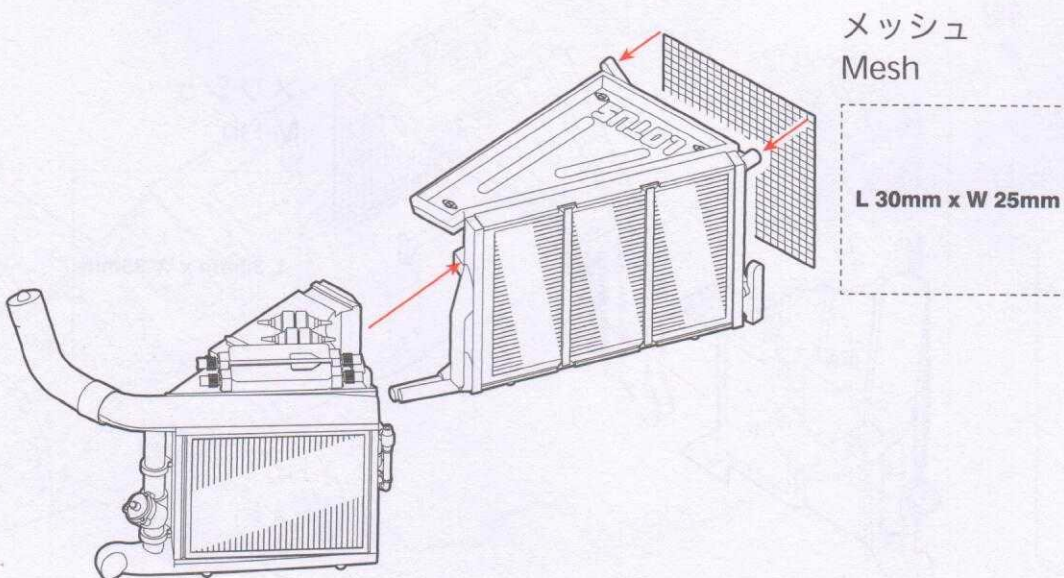
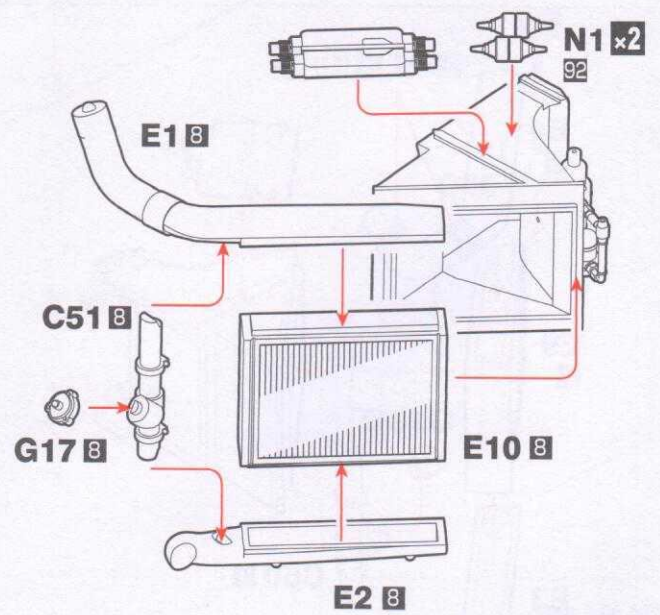
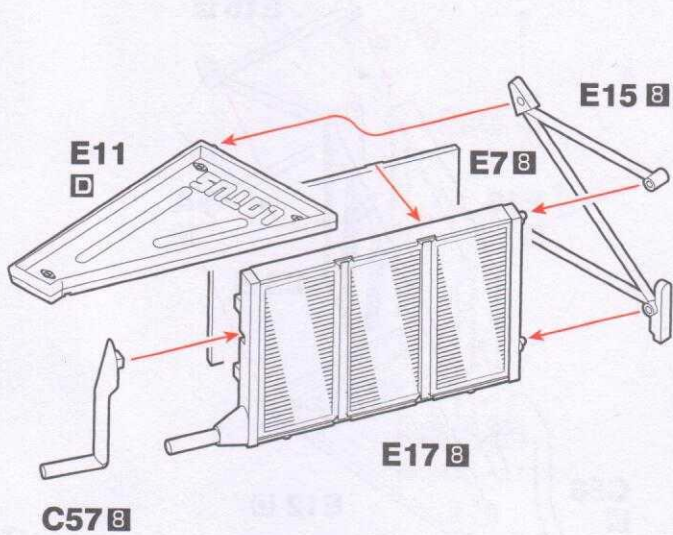
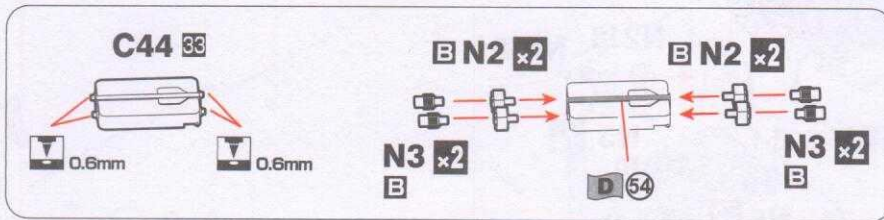
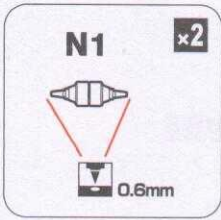
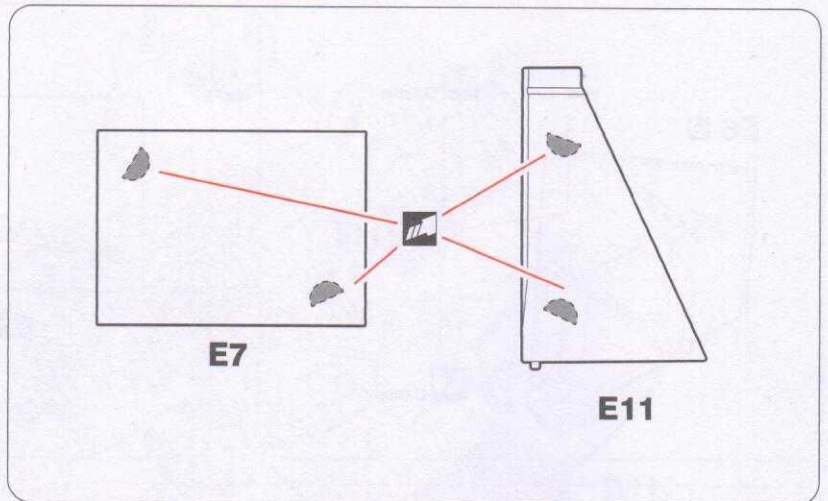
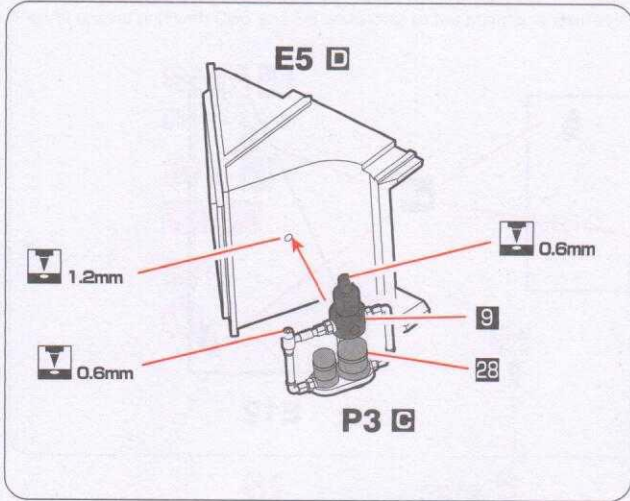


28 モノコックの取り付け / Attaching Monocoque

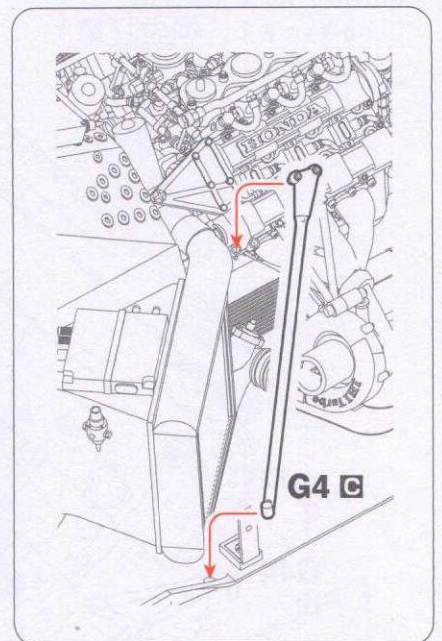
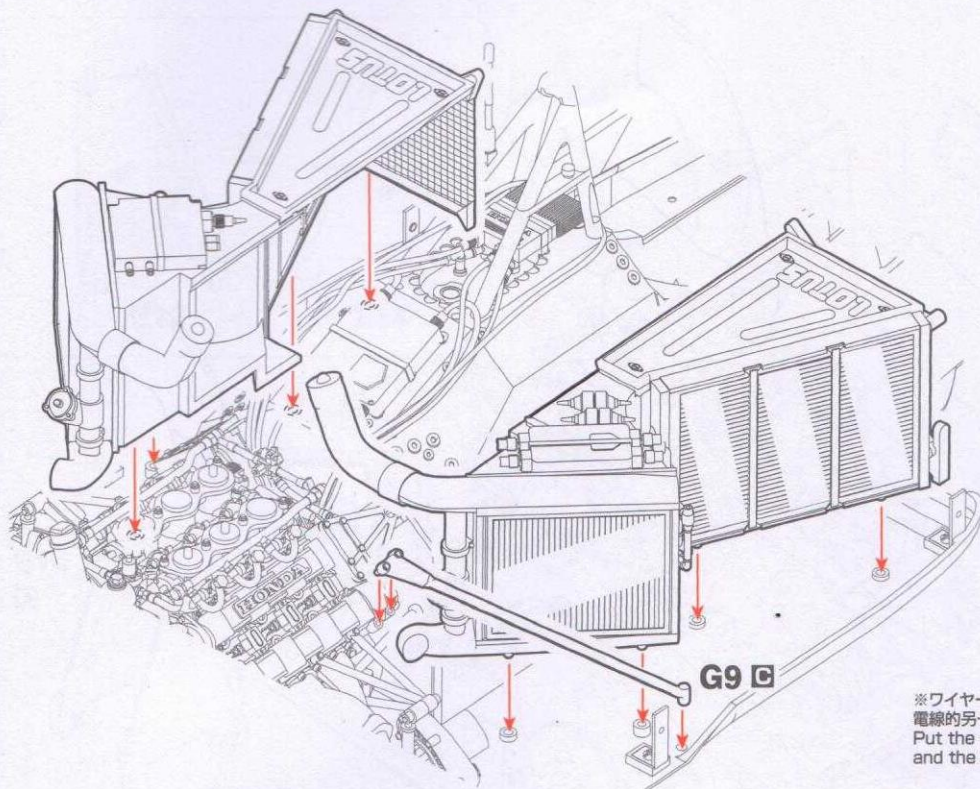


29 インタークーラーとラジエータの組み立て 1 / Intercooler & Radiator Assembly 1

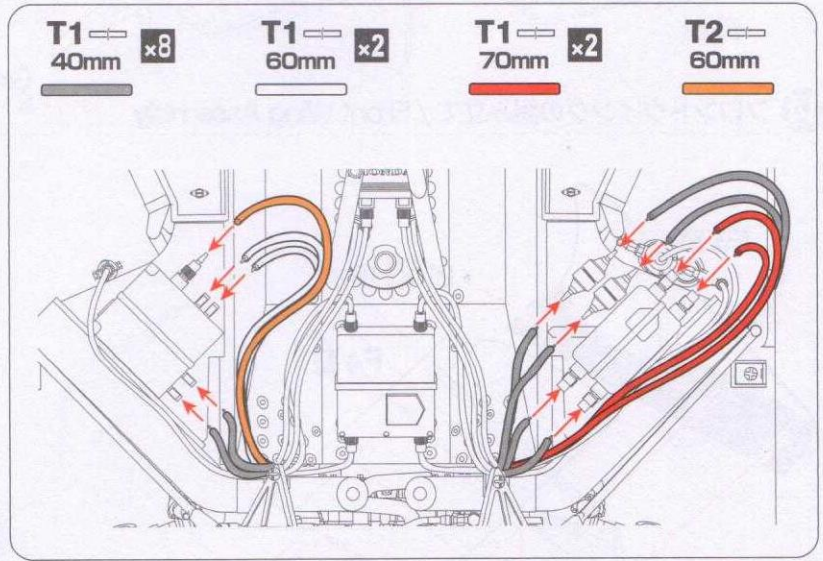
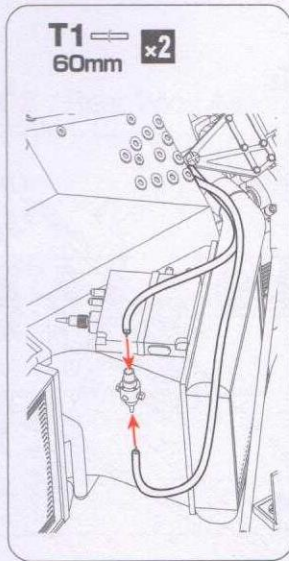
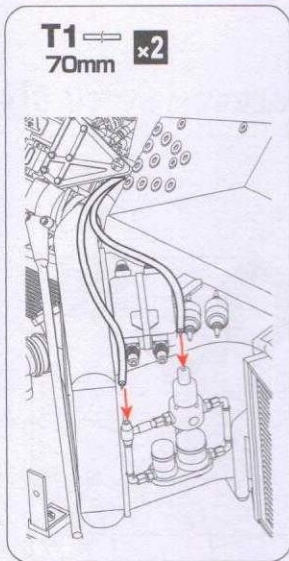




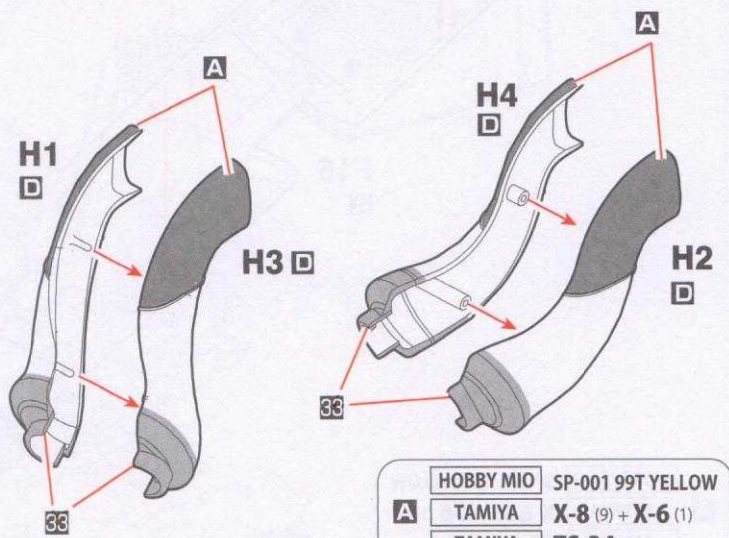
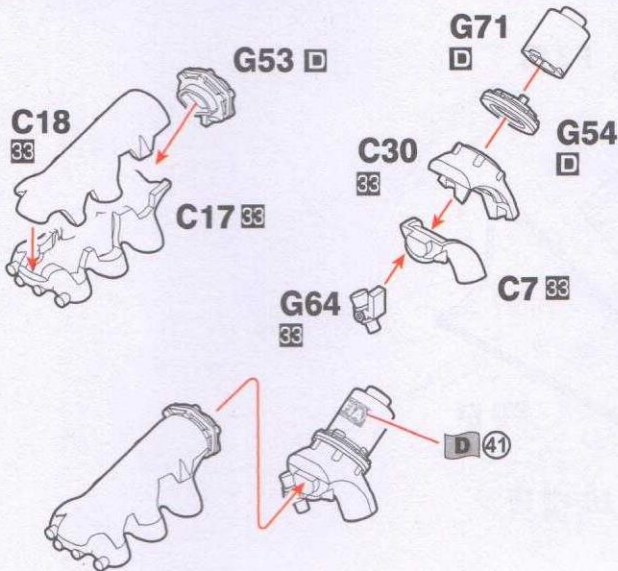
31 インタークーラーとラジエータの組み立て 3 / Intercooler & Radiator Assembly 3



※ワイヤーのもう一方の端はコックピットとエンジンとの間に収めます。
電線の另一端接入座艙與引擎之間隙處
Put the other end of the wire into the gap between the cockpit and the engine.

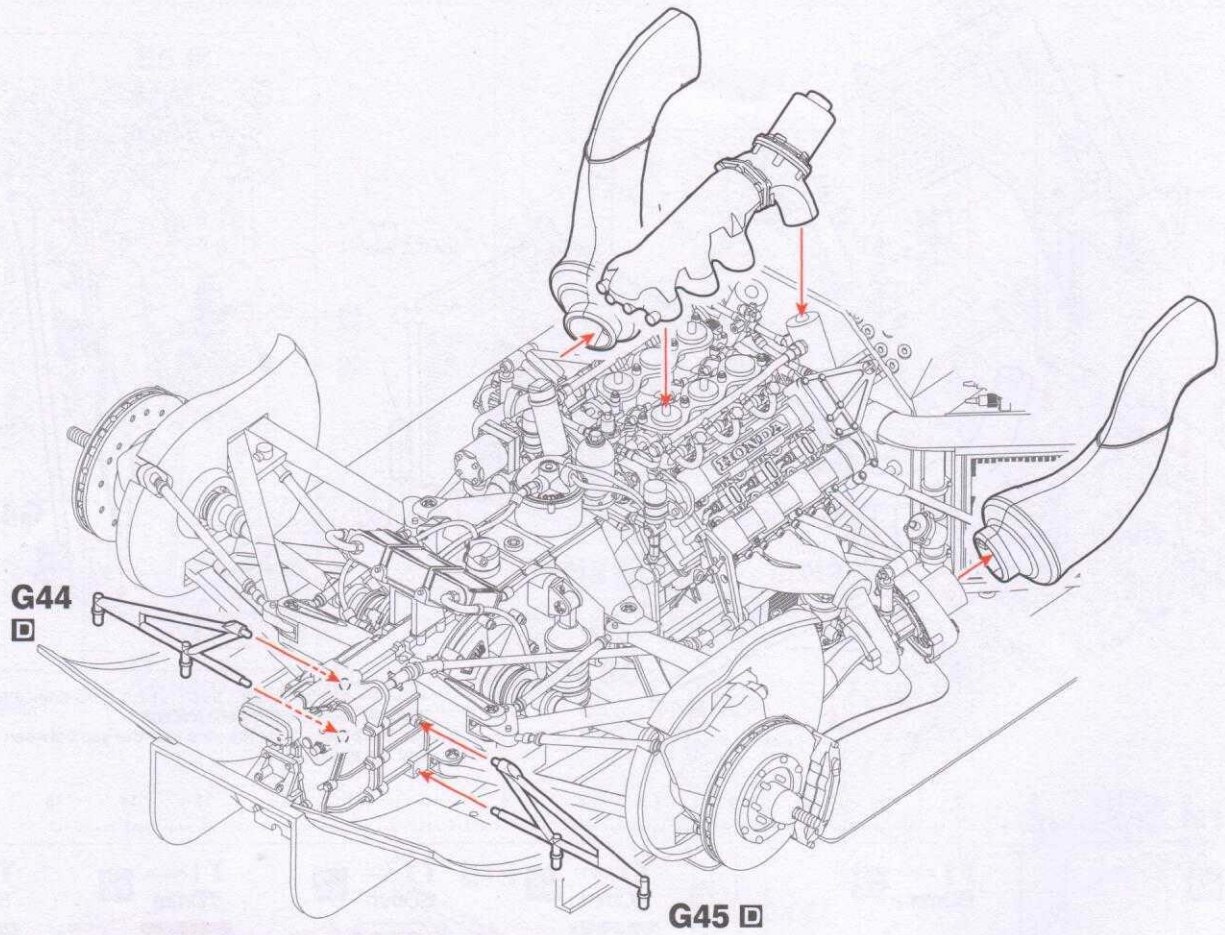


32 エアチャンバーの組み立て 1 / Air Chamber Assembly 1

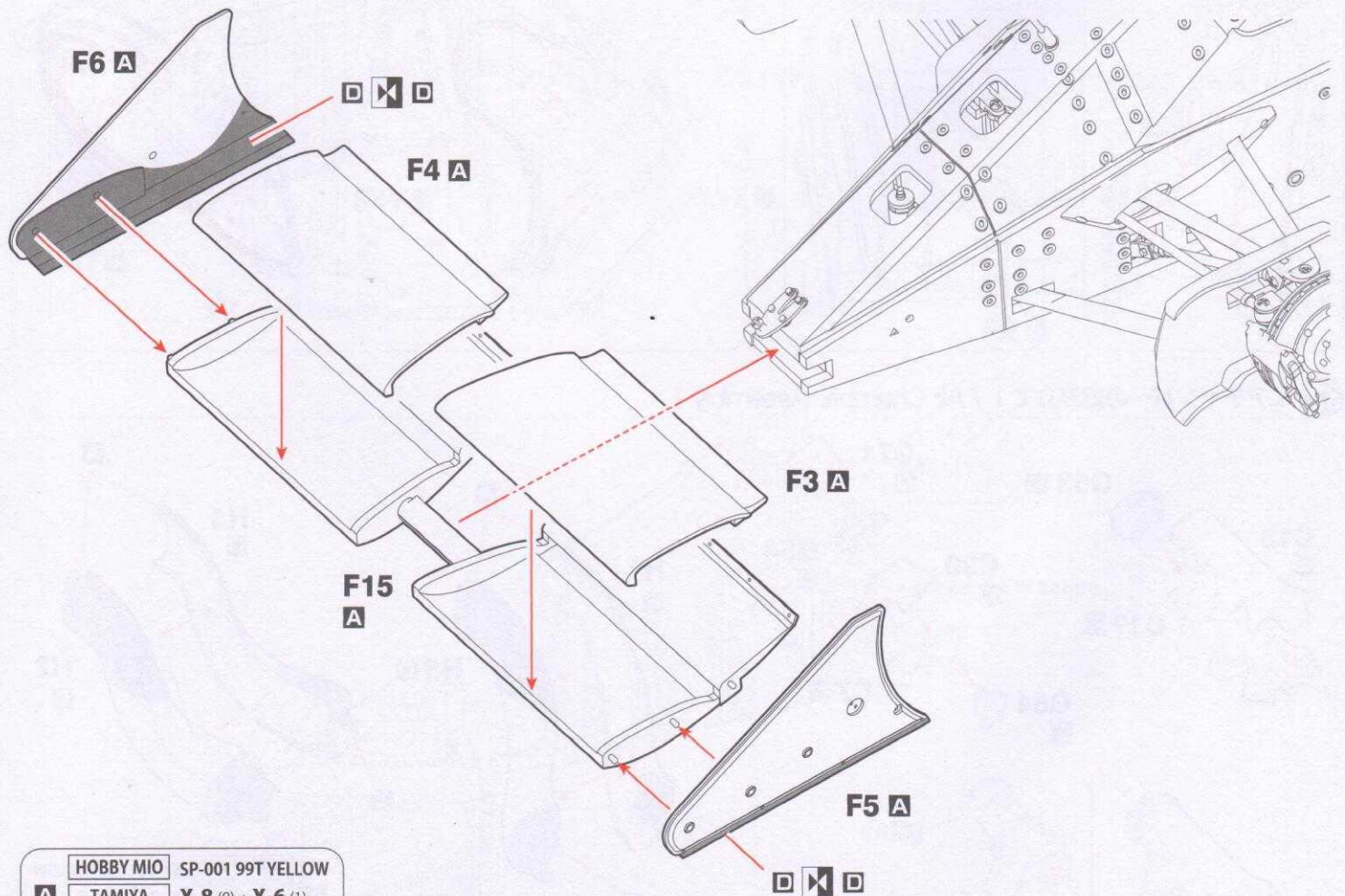


	HOBBY MIO	SP-001 99T YELLOW
A	TAMIYA	X-8 (9) + X-6 (1)
	TAMIYA	TS-34

33 エアチャンバーの組み立て2 / Air Chamber Assembly 2

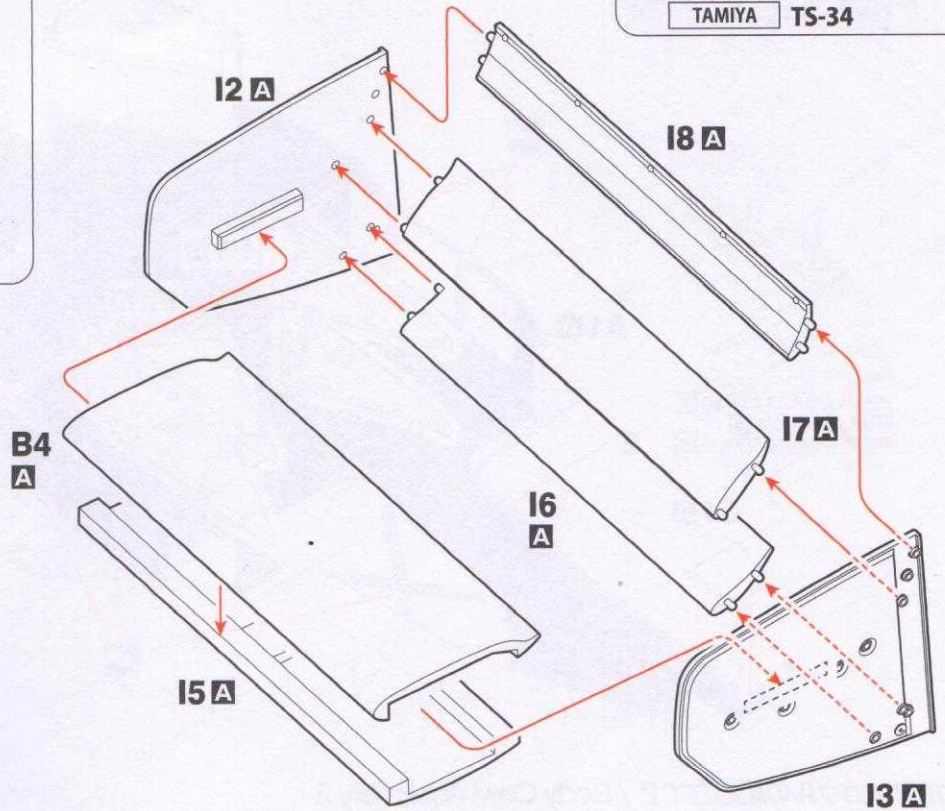
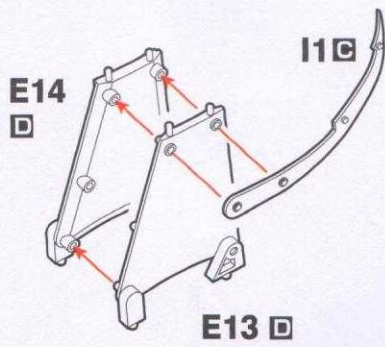
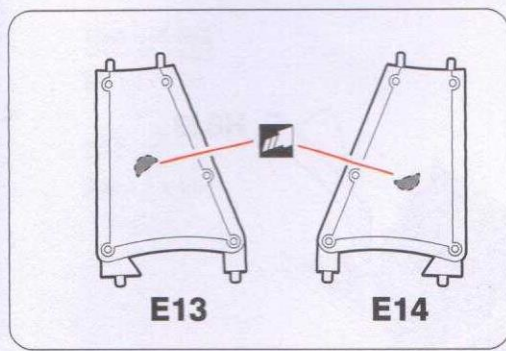


34 フロントウイングの組み立て / Front Wing Assembly



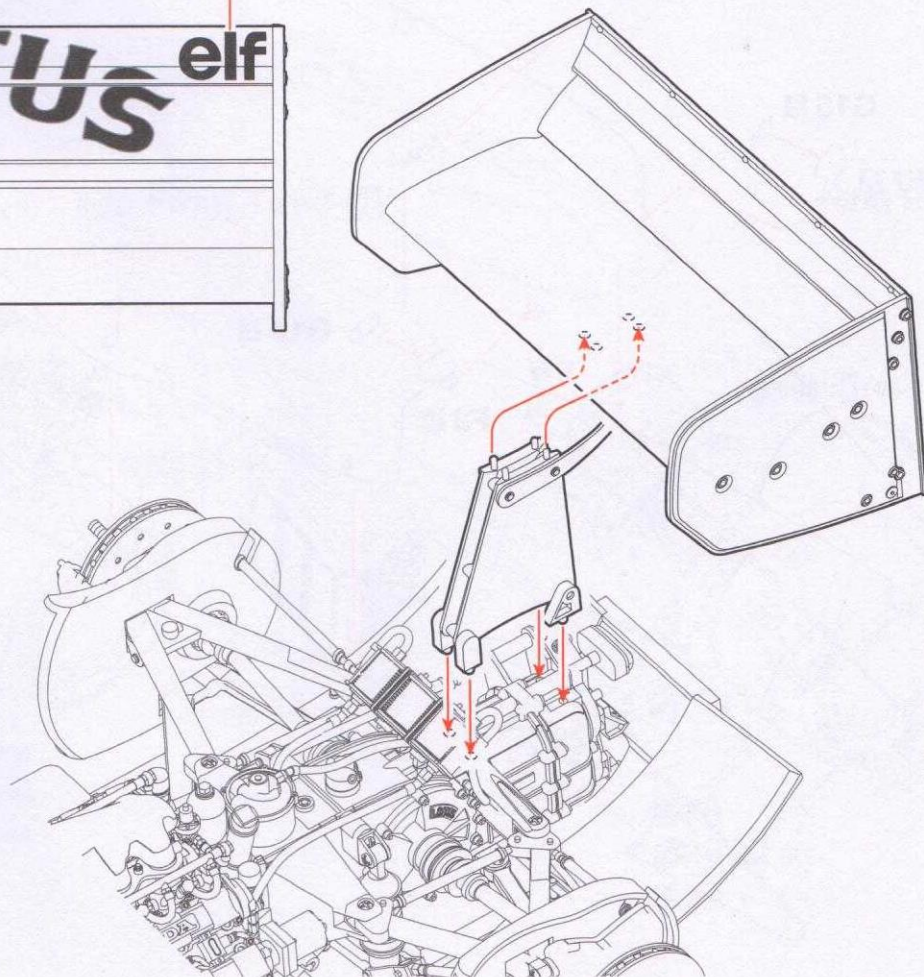
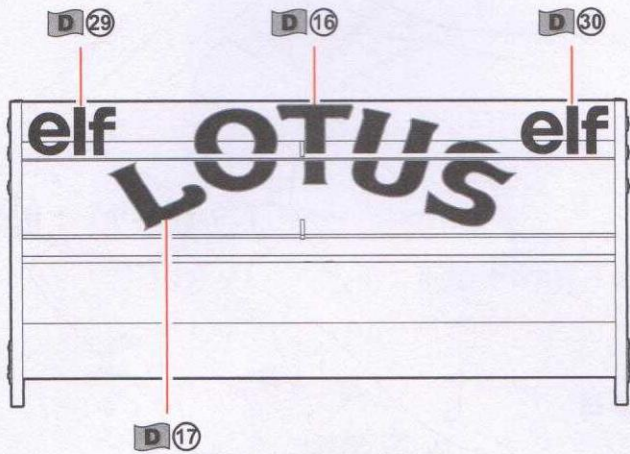
	HOBBY MIO	SP-001 99T YELLOW
▲	TAMIYA	X-8 (9) + X-6 (1)
	TAMIYA	TS-34

35 リアウイングの組み立て1 / Rear Wing Assembly 1



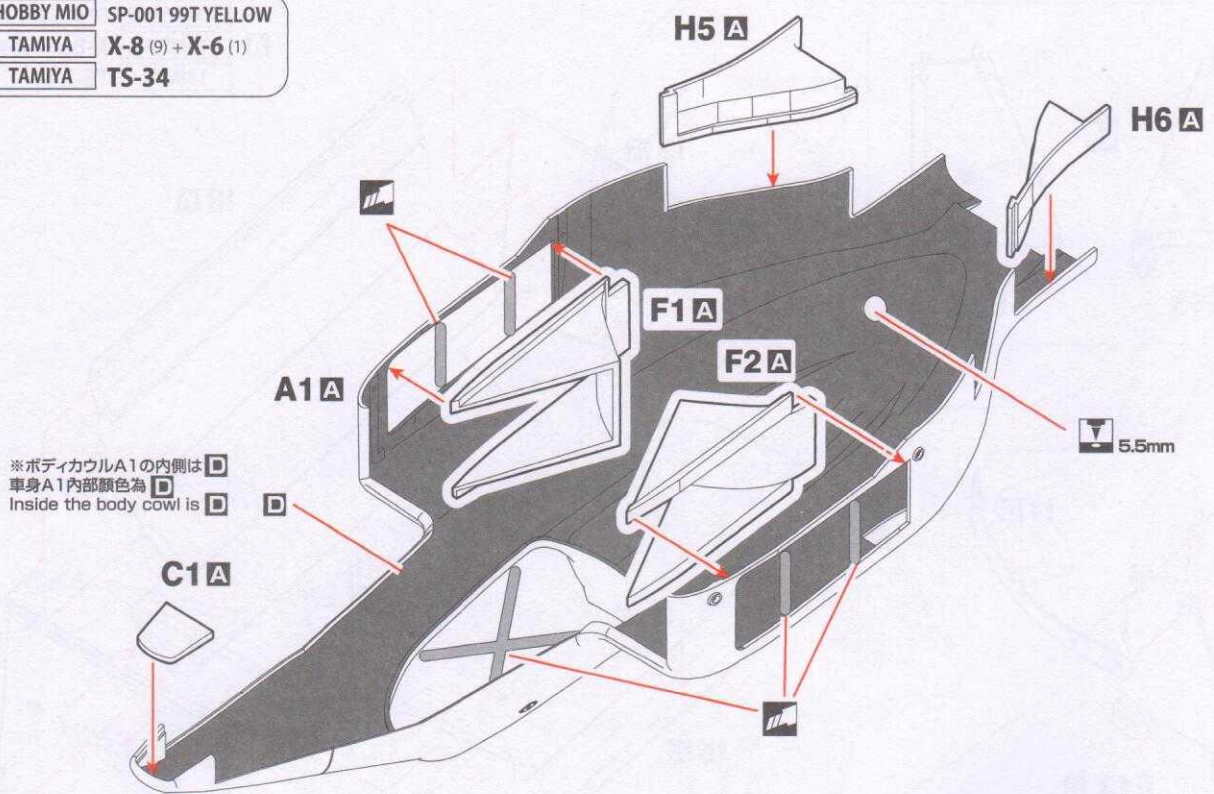
	HOBBY MIO	SP-001 99T YELLOW
A	TAMIYA	X-8 (9) + X-6 (1)
	TAMIYA	TS-34

36 リアウイングの組み立て2 / Rear Wing Assembly 2



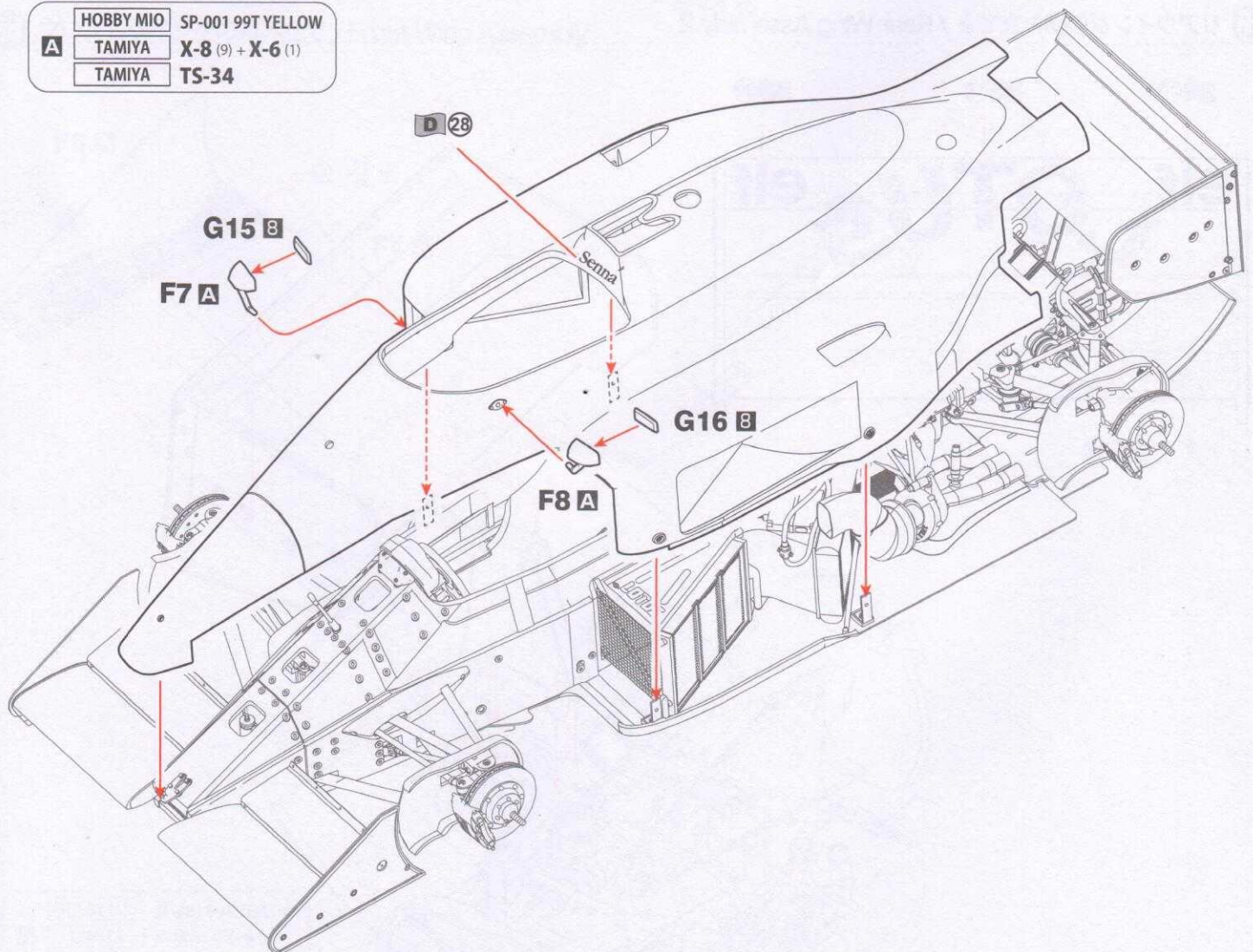
37 ボディカウルの組み立て1 / Body Cowl Assembly 1

HOBBY MIO	SP-001 99T YELLOW
A TAMIYA	X-8 (9) + X-6 (1)
TAMIYA	TS-34




38 ボディカウルの組み立て2 / Body Cowl Assembly 2

HOBBY MIO	SP-001 99T YELLOW
A TAMIYA	X-8 (9) + X-6 (1)
TAMIYA	TS-34




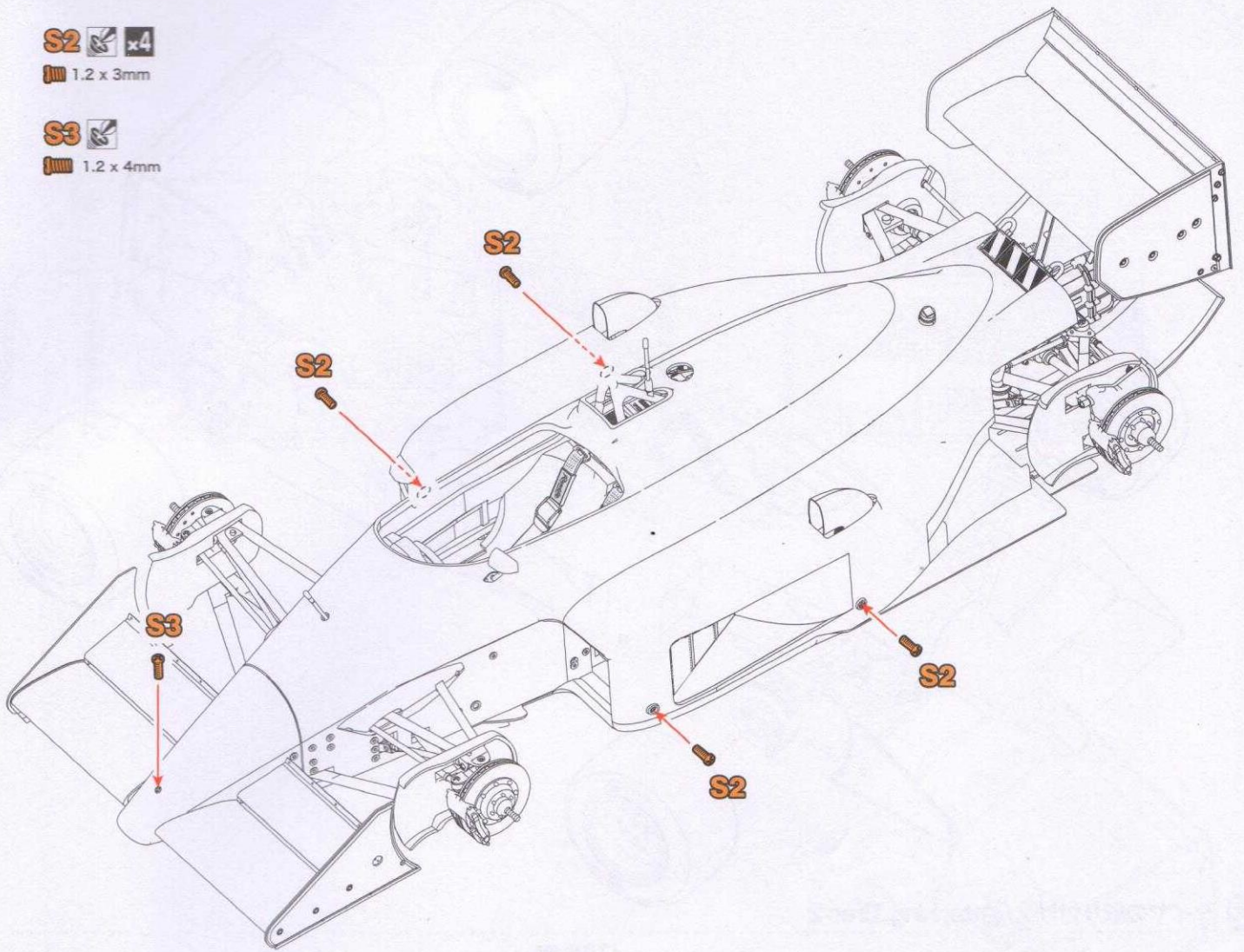
39 ボディカウルの取り付け / Attaching Body Cowl

S2  **x4**

 1.2 x 3mm

S3 

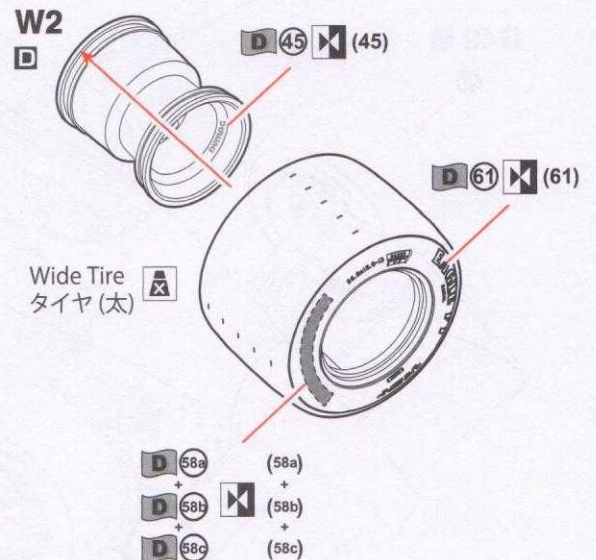
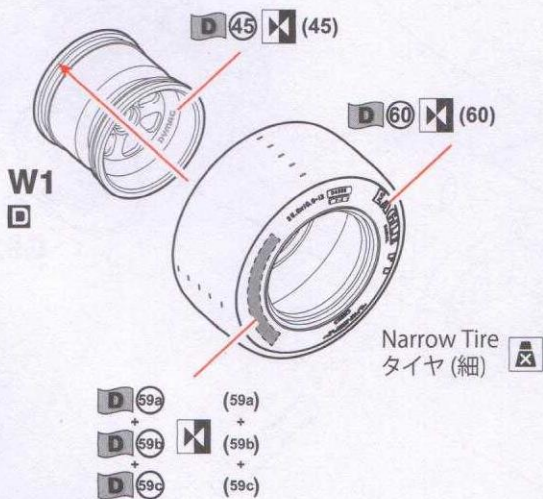
 1.2 x 4mm



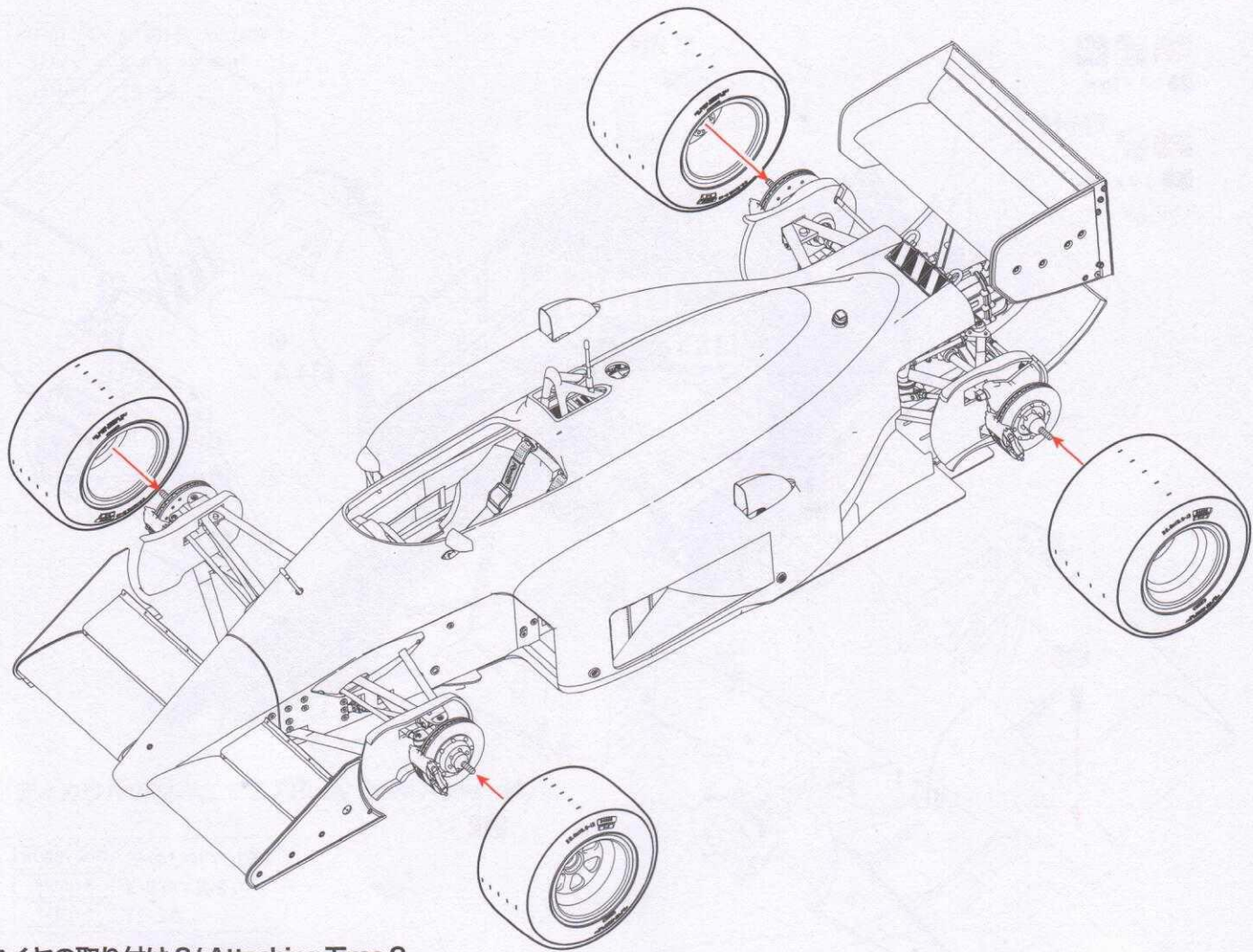
40 タイヤの組み立て / Tires Assembly

前輪 Front Tires **x2**

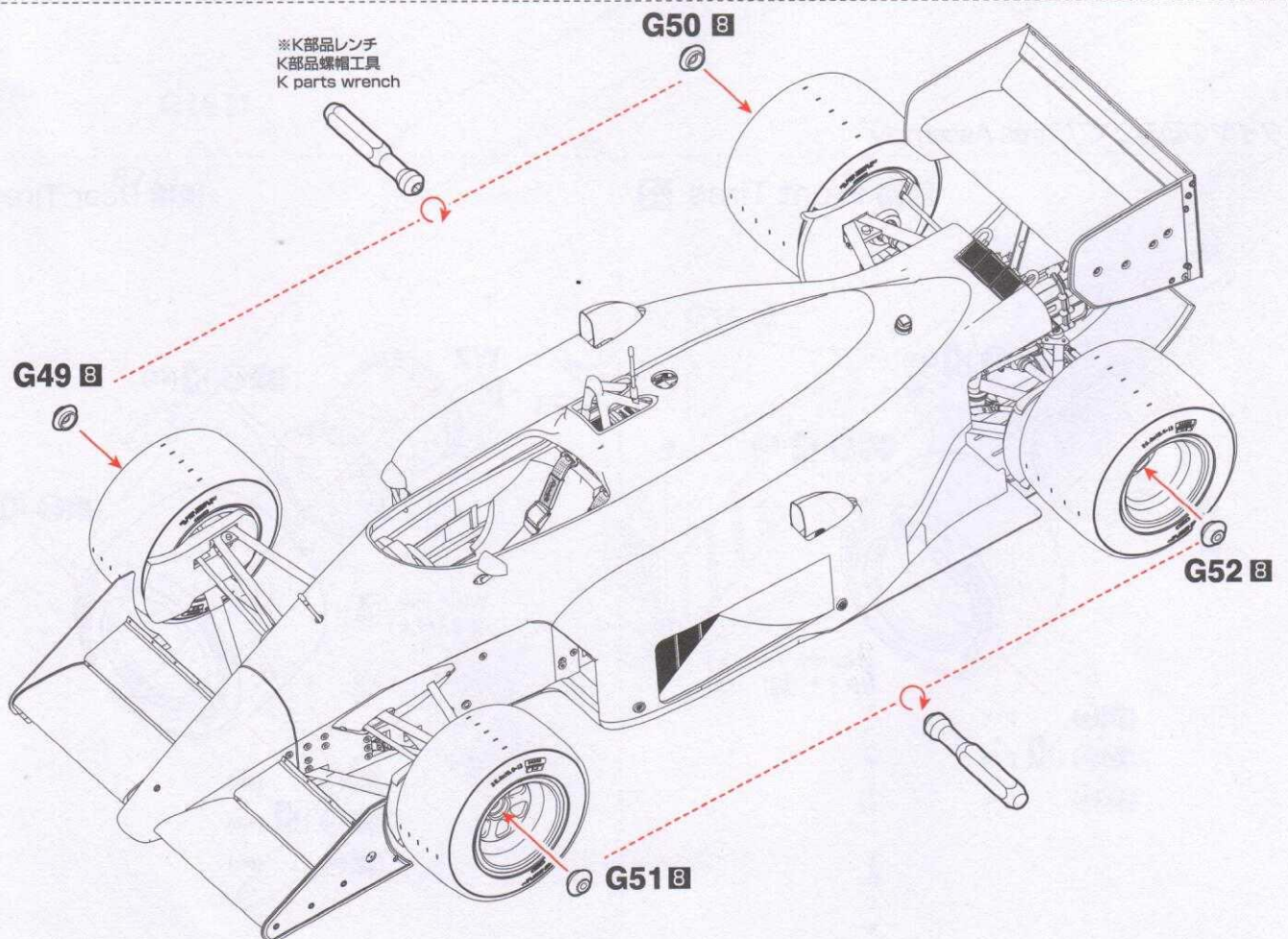
後輪 Rear Tires **x2**

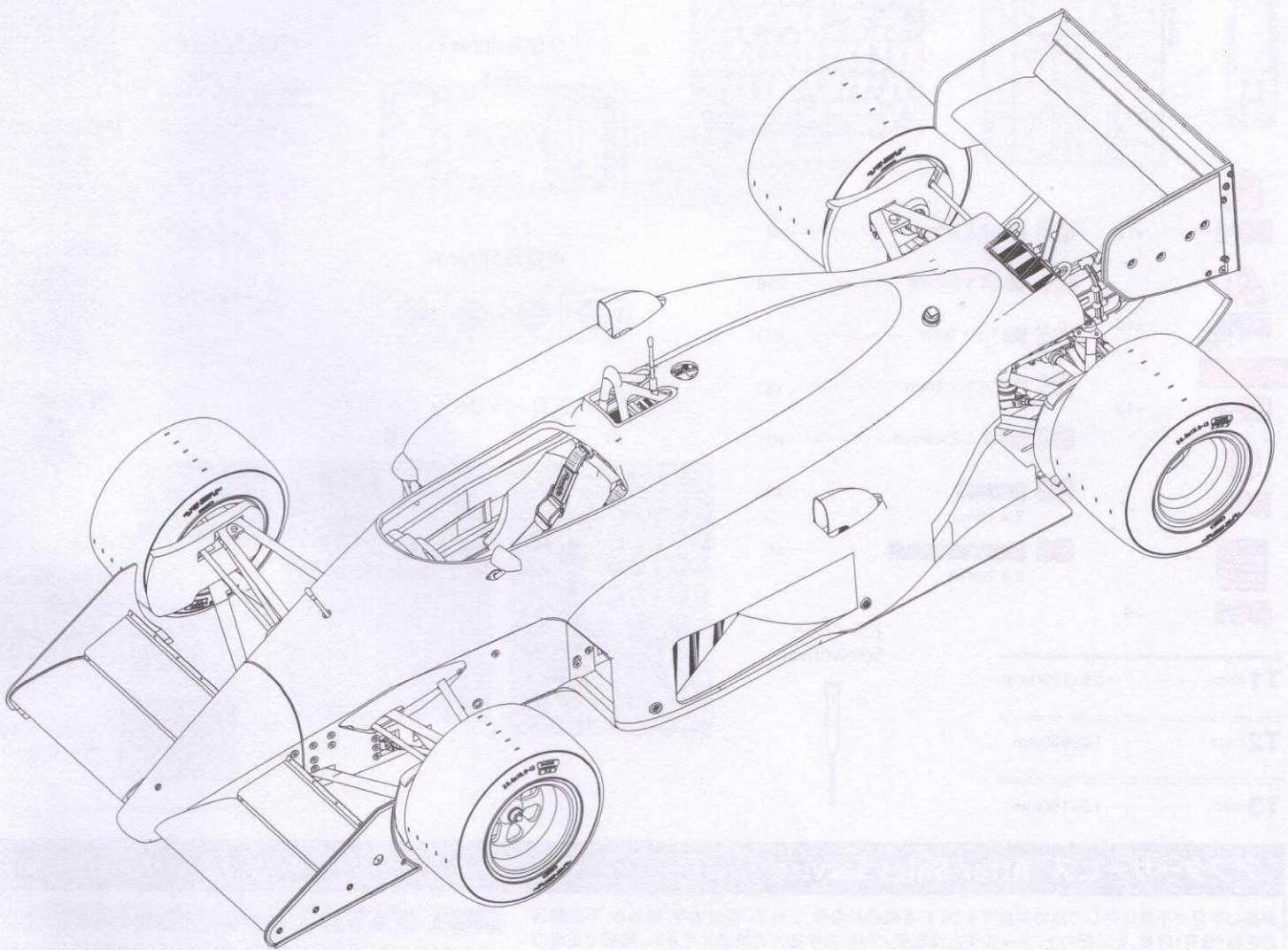
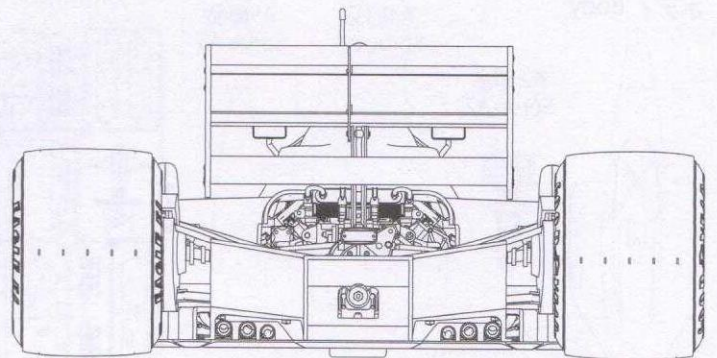
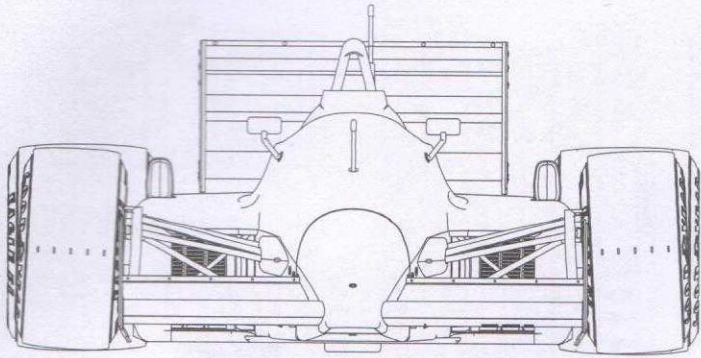


41 タイヤの取り付け 1/ Attaching Tires 1



42 タイヤの取り付け 2/ Attaching Tires 2





LOTUS 99T

'87 MONACO GP WINNER

〈デカール/Marking〉

